

令和7年度

定期監査結果報告書

富士宮市監査委員



# 目 次

1	監 査 の 種 類	1
2	監 査 の 対 象	1
3	監 査 の 範 囲	1
4	監 査 の 期 間	1
5	監 査 の 実 施 場 所	1
6	監 査 の 実 施 内 容	2
7	監 査 の 方 法	2
8	監 査 の 結 果	2
◇	総 務 部	
◎	行 政 課	3
◎	人 事 課	5
◎	契 約 管 理 課	7
◎	工 事 検 査 課	9
◇	企 画 部	
◎	企 画 戦 略 課	11
◎	富 士 山 世 界 遺 産 課	13
◎	秘 書 課	15
◎	広 報 課	16
◎	デ ジ タ ル 推 進 課	18
◇	財 政 部	
◎	財 政 課	20
◎	収 納 課	23
◎	市 民 税 課	25
◎	資 産 税 課	27

◇	市	民	部								
	◎	市	民	生	活	課	.....	29			
	◎	市	民	交	流	課	.....	32			
	◎	市	民			課	.....	34			
	◎	出	張			所	.....	36			
	◎	保	險	年	金	課	.....	48			
◇	産	業	振	興	部						
	◎	農	業	政	策	課	.....	51			
	◎	観	光			課	.....	53			
	◎	商	工	振	興	課	.....	55			
◇	環	境	部								
	◎	環	境	企	画	課	.....	57			
	◎	生	活	環	境	課	.....	59			
	◎	花	と	緑	と	水	の	課	.....	61	
	◎	清	掃	セ	ン	タ	ー	.....	63		
◇	保	險	福	祉	部						
	◎	福	祉	企	画	課	.....	65			
	◎	高	齡	介	護	支	援	課	.....	67	
	◎	障	が	い	療	育	支	援	課	.....	69
	◎	福	祉	総	合	相	談	課	.....	71	
	◎	こ	ど	も	未	来	課	.....	73		
	◎	保	育	支	援	課	.....	75			
	◎	健	康	増	進	課	.....	78			
◇	都	市	整	備	部						
	◎	管	理			課	.....	80			
	◎	道	路			課	.....	82			
	◎	河	川			課	.....	84			
	◎	都	市	計	画	課	.....	86			
	◎	都	市	整	備	課	.....	88			
	◎	公	共	建	築	課	.....	90			
	◎	建	築	住	宅	課	.....	91			

◇	水	道	部									
	◎	水	道	業	務	課	.....	94				
	◎	水	道	工	務	課	.....	94				
	◎	下	水	道	課	.....	97					
◇	危	機	管	理	局	.....	100					
◇	市	立	病	院	.....	102						
◇	会	計	管	理	局	.....	105					
◇	消	防	本	部	.....	107						
◇	教	育	部									
	◎	教	育	総	務	課	.....	111				
	◎	学	校	教	育	課	.....	113				
	◎	社	会	教	育	課	.....	115				
	◎	文	化	課	.....	117						
	◎	ス	ポ	ー	ツ	振	興	課	.....	119		
	◎	学	校	給	食	セ	ン	タ	ー	.....	121	
	◎	中	央	図	書	館	.....	123				
	◎	小	学	校	.....	126						
	◎	中	学	校	.....	126						
◇	市	議	会	事	務	局	.....	129				
◇	選	挙	管	理	委	員	会	事	務	局	.....	130
◇	農	業	委	員	会	事	務	局	.....	132		



## 1 監査の種類

監査の名称 令和7年度定期監査  
根拠法令 地方自治法第199条第1項及び第4項

## 2 監査の対象

総務部	行政課、人事課、契約管理課、工事検査課
企画部	企画戦略課、富士山世界遺産課、秘書課、広報課、デジタル推進課
財政部	財政課、収納課、市民税課、資産税課
市民部	市民生活課、市民交流課、市民課、出張所、保険年金課
産業振興部	農業政策課、観光課、商工振興課
環境部	環境企画課、生活環境課、花と緑と水の課、清掃センター
保健福祉部	福祉企画課、高齢介護支援課、障がい療育支援課、福祉総合相談課、 こども未来課、保育支援課、健康増進課
都市整備部	管理課、道路課、河川課、都市計画課、都市整備課、公共建築課、 建築住宅課
水道部	水道業務課、水道工務課、下水道課
危機管理局	
市立病院	
会計管理局	
消防本部	消防総務課、予防課、警防救急課、中央消防署、西消防署
教育部	教育総務課、学校教育課、社会教育課、文化課、スポーツ振興課、 学校給食センター、中央図書館、小学校、中学校
市議会事務局	
選挙管理委員会事務局	
農業委員会事務局	

## 3 監査の範囲

令和7年4月1日から監査基準日までの財務に関する事務事業の執行及び経営に関する事業の管理

## 4 監査の期間

令和7年8月12日から令和8年2月5日まで

## 5 監査の実施場所

監査委員室

なお、市立病院、小学校、中学校、保育園及びあすなろ園については現地

## 6 監査の実施内容

富士宮市監査基準に基づき、財務に関する事務執行及び経営に関する事業の管理が法令に適合し、正確で、最小の経費で最大の効果を上げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか、また、前回の要望事項等について、改善、整備のための努力がなされたかを主眼とし実施しました。

## 7 監査の方法

関係諸帳簿及び証拠書類等により事前監査を実施するとともに、関係職員に、予算及び事務事業の執行状況を確認しました。

## 8 監査の結果

監査を実施した事務事業は、所期の目的に沿って執行され、その経理手続事務処理はおおむね適正と認められ、公表すべき指摘事項はありません。

なお、留意及び改善すべき軽微な事項については、口頭で指摘したので省略します。

監査の概要は次のとおりです。

(注) 百分率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入としました。

◇ 総 務 部

◎ 行 政 課

1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	選挙管理委員会事務局長を併任
課 長 補 佐	1		1	
文 書 法 規 係	4	2	6	
行 政 経 営 係	3		3	
選 挙 係	3		3	選挙管理委員会事務局 次長を併任1 選挙係主事を併任2
計	13	2	15	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

各職場の定員管理については、各部署と念入りにヒアリングを行った上で、状況を確認しながら適正となるように行われています。近年多く見られる国の新たな施策の影響や、突発的な自然災害等も予測の上、今後も人事課との情報共有、連絡調整を図り、各職場の労務環境の安定性が高まるよう努められたい。

(2) 処理済の事項

定数管理については、各課とヒアリングを行い、職場環境及び業務量の増減を確認しています。また、育児休業を取得する職員の代替を正規職員で行うなど、ワークライフバランスの向上等を考慮しながら、適正な定数及び配置となるよう努めました。引き続き、人事課との情報共有及び連絡調整を密にし、各職場の業務量や働きやすい環境であるかどうか等を確認しながら、適正な定数となるよう努めてまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
208,000	77,280	73,710	3,570	35.4	95.4

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
22,598,000	10,561,589	12,036,411	46.7

### 4 要望事項等

育児休業を取得する職員に対する代替配置について、正規職員の配置を行うなど、適正な職員配置を行うよう努められています。各職場の状況や業務内容を考慮し、休業する職員とその周りの職員双方にとって、好ましい状況となるよう、専門知識を持つ会計年度任用職員を活用することなども視野に入れ、全庁あげて体制づくりに取り組んでいけるよう、引き続き努めていくことを要望します。

## ◎ 人 事 課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	互助会事務局長を併任
人事研修係	5	8	13	
給与厚生係	5	2	7	病気休暇中1
計	11	10	21	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

長時間勤務の状況については、毎月の長時間滞在者の集計や、各所属の管理職から提出を受ける「職場健康安全報告書」により、全職場の状態を把握されております。個別の職員からの要望等にも耳を傾け、庁内全体で職員の働き方改革とワークライフバランスの推進に向けた取り組みを進めていくよう要望します。

また、職員採用に関しては、採用試験の前倒しや受験者の負担軽減を図るなど、あらゆる改善に努められていますが、近年採用後の定着率の低下が懸念されることから、貴重な人材の採用後の育成にも着眼をおくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

個別の職員からの要望等については、健康相談室での面談の際に本人の心身の状態、業務や職場の状況等について聴き取りを行っており、その際に本人の希望により、課内での情報共有や所属長への情報提供等の対応を行っております。また、働き方改革とワークライフバランスの推進に向けた取り組みとして、定時退庁とそのための計画的な業務執行を意識づけるため、今年度から全庁型ノー残業デイを2日増やして全8回としました。

採用後の育成につきましては、新規採用職員に対しスキルアップを目的に4つの基礎研修を実施しているほか、希望者に対してe-ラーニングによる自己啓発の機会を提供しているところです。

さらに、人事評価制度による所属長との定期的な面談(期首・期中・期末)を通じて、職員の能力や役割等へのフィードバックを行い、職員が成長を実感できるように努めています。こうした取組を通じ職員のやりがいを引き出すことで職員の定着に努めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
18,019,000	3,419,566	3,389,236	30,330	18.8	99.1

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,783,484,000	688,237,314	1,095,246,686	38.6

## 4 職員研修の状況(令和7年10月1日現在)

(単位:講座・人)

研修区分	講座数	延人員	備考
基本研修	14	598	新規採用職員研修、管理者研修ほか
職場研修	1	—	日常の業務を通じて行う研修
派遣研修	42	90	富士市・富士宮市合同研修、 民法研修ほか
専門研修	3	97	次世代育成リーダー養成講座（保育士）、 不当要求防止責任者講習ほか
特別研修	1	81	通信教育講座
その他の研修	4	136	メンタルヘルス研修ほか
計	65	1,002	

## 5 要望事項等

健康相談室での面談などをもとに、各職場内の長時間労働や労務環境の改善と個々の職員の状況把握等に努められています。可能な限り、所属長との情報共有を図りながら、各部署の好ましい職場環境づくりに関わっていただくよう努められたい。

## ◎契約管理課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
契約係	4		4	
施設管理係	2	18	20	
計	7	18	25	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

建設工事等の入札業務については、近年の資機材や人件費等の高騰で、予定価格の設定が厳しい状況にあり、対応に苦慮されていると思われます。このような状況は、しばらくの間継続すると見込まれるため、予定されている請負業務が滞りなく進められるよう、引き続き念入りな情報収集、予定価格の積算を行って、的確な入札の推進に努めて業務を進めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

工事主管課では、建設工事の積算に際して、労務単価について県から年4回の価格改定の通知を受けています。積算に当たっては、最新の労務単価を採用し、積算精度の確保に努めています。建設資材は、発注時期によって資材価格が変動するため、資材業者から直近の見積りを取得し、設計の積算に反映させています。

今後も国や県、関係部署からの情報を継続的に収集し、確実かつ適正な入札執行に努めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
27,772,000	23,371,238	22,682,735	688,503	81.7	97.1

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
543,775,000	171,173,593	372,601,407	31.5

## 4 工事請負契約締結件数の状況(令和7年10月1日現在)

(単位:件)

区 分	一般競争 入 札	指名競争 入 札	公募型指名 競争入札	随意契約	計
200万円超	0	1	16	1	18
500万円未満 ※R6年度 130万円超	( 0 )	( 1 )	( 30 )	( 2 )	( 33 )
500万円以上	0	0	16	1	17
1,000万円未満	( 0 )	( 0 )	( 14 )	( 1 )	( 15 )
1,000万円以上	15	0	44	2	61
	( 18 )	( 1 )	( 30 )	( 2 )	( 51 )
計	15	1	76	4	96
	( 18 )	( 2 )	( 74 )	( 5 )	( 99 )

(注) 下欄( )は、前年度同期

## 5 要望事項等

工事及び建設関連業務委託における電子入札の実施は、入札における公平性及び正当性が確保され、事業者側の提出書類等の簡素化や市役所側の業務負担の軽減に繋がり、双方にメリットのある仕組みとなっています。その上で、万が一の契約不履行に繋がることのないよう、業者の選定については引き続き慎重に行うよう努められたい。

## ◎ 工 事 検 査 課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
検 査 係	3		3	育児休業中 1
計	4	0	4	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

技術職員の知識及び技術力向上を図るために、県や当市が主催する各種の研修等について、多くの技術職員に受講の機会を与えています。今後も引き続き、該当職員の経験や能力に見合った研修がまんべんなく受講できるよう、研修等の機会を設け、技術職員の更なる資質向上に努めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

今年度の市主催の技術職員研修では、外部講師による講習ではなく若手職員に発表の機会を設けて、自己の業務を振り返り、業務改善への意識啓発やプレゼンテーション及び資料作成における技術力向上などを目的とした研修会とし、職員の資質向上につながるよう心掛けました。

県主催の技術職員研修への参加は引き続き、職員の経験や能力に見合ったものを工事検査課で選定し、受講させています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後も工事検査課として、的確な工事検査及び指導を行っていくために、研修会や検査員連絡会などに積極的に参加し、情報の収集、情報交換を行い、検査員としてのスキルアップに努めていきます。

また、工事検査や研修会を通じて、技術職員への情報の提供や指導監督を継続して行っていきます。

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
40,248,000	17,975,752	22,272,248	44.7

## 4 工事検査の状況(令和7年9月30日現在)

(単位:件・円)

工事担当課	完 成 検 査		そ の 他 の 検 査				
	件 数	金 額	既済部分	中 間	材 料	材料製造	部分払
道 路 課	20	170,423,000	0	0	0	0	0
河 川 課	4	36,784,000	0	0	0	0	0
公共建築課	9	469,458,000	0	7	0	0	0
水道工務課	11	220,506,000	0	1	0	0	0
下 水 道 課	5	163,460,000	0	0	0	0	0
都市整備課	1	28,479,000	0	0	0	0	0
富士山世界遺産課	1	4,730,000	0	0	0	0	0
花と緑と水の課	2	243,111,000	0	1	1	0	0
計	53	1,336,951,000	0	9	1	0	0

## 5 要望事項等

今年度の技術職員研修は、当市から災害復興支援に赴いた職員や県から帰任した職員からの報告をもとに実施されました。災害現場や他の機関で得た貴重な経験を情報共有する好機会となったことから、今後も技術職員の研鑽に役立つ研修の場を引き続き提供していくことに努められたい。

## ◇ 企 画 部

### ◎ 企 画 戦 略 課

#### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	地域政策推進室 室長
企画調整係	4		4	
地域政策推進室	5	2	7	育児休業中1
計	12	2	14	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

第6次富士宮市総合計画の策定に取り組む中で、市民からの意見聴取を行い、若い人たちが自分の住んでいるまちの良さを認識し、また、高齢者に至っては、特に自治会や農業の後継者不足、空き家の問題などを課題として捉えているという意見が多く聞かれたとのことです。住み慣れた地域の良さと自然資源、伝統文化等を残し、活かしていくことで、人が集い住み続けていただけるまちづくりとなるよう、新たな計画に反映させていくことに努められたい。

##### (2) 処理済の事項

第6次富士宮市総合計画は、その策定方針の一つとして、最初に目標とする未来像を描き、その未来像を実現する道筋を未来から現在へとさかのぼって考える「バックキャスト方式」を採用しています。

そのため、第6次富士宮市総合計画の策定には、計画に関わる市民の皆さまや職員が、現在の状況を踏まえつつ、まちの未来像を描き、それに向かって政策・施策を検討することが必要になることから、地区懇談会や市民ワークショップ等で得られた市民のご意見は大変重要なものと捉えております。

中でも、市民から多くの意見があった若者や女性に選ばれる地域づくりや自治会や農業の担い手不足、空き家対策などは、地域の大きな課題と捉えており、その対策には分野横断的に取り組む必要があると考えています。

そうしたことから、第6次富士宮市総合計画は、本市の恵まれた自然環境や歴史・文化などの地域資源を最大限に活用し、富士山を誇りに暮らす人々が、互いに支え合うことで、市民一人ひとりが幸せを感じられるまちを共に創りあげていくことを将来都市像に掲げ、それに向けた政策・施策を盛り込んだ計画の策定に取り組んでおります。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
8,091,622,000	2,405,147,300	2,405,021,216	126,084	29.7	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
4,566,288,000	1,179,624,412	3,386,663,588	25.8

### 4 要望事項等

地域に眠っている労働力を掘り起こして活用するため、事業所が掲載している仕事と、登録している求職者のマッチングを成立させる「SDGsの人材マッチングサイト」を立ち上げています。登録事業者からは、求職者の求めるより詳細な情報をサイトへ掲載していただき、求職者が安心して仕事を選択できるようなサイトとなるよう、また、登録事業者数の拡大も併せて、サイトの充実を図っていくことを要望します。

## ◎ 富士山世界遺産課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
企 画 係	3		3	
計画推進係	3		3	
計	7	0	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

浅間大社西側市有地に(株)江戸屋本店がオープンしたことにより、大勢の方々が店舗を利用されています。現在整備を進めている浅間大社周辺には、多くの観光客が訪れており、今後も益々増えることが期待できるため、事業者や商店街の皆様にもご協力いただきながら、利用者の方々が立ち寄りやすく、また魅力ある町並みとなるよう、引き続きまちの活性化に繋がる取り組みの創出に努められたい。

#### (2) 処理済の事項

令和7年3月に富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想を改定したことから、本構想の内容を商店街や関係団体と共有し、当該地を含む中心市街地のにぎわい創出に向けた取り組みについて検討会議を開催しました。

当該地への主要動線となる市道宮町5号線拡幅事業用地の一部について、地権者と交渉を進め、用地買収及び賃貸借に係る基本合意を得ました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

富士宮市世界遺産のまちづくり整備基本構想の改定に伴い、富士山本宮浅間大社周辺整備計画の策定(令和8年度中策定予定)を進めます。また、本計画の目的である主要動線確保やにぎわい創出を促進するための整備等手法検討を進めます。

市道宮町5号線拡幅事業について、基本合意をいただいた一部用地を令和8年度中の買収を目指して、引き続き交渉を進めます。また、中心市街地を流れる清流神田川を生かした癒しの空間整備(公園整備)に関しても並行して検討を進めます。

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
110,771,000	3,647,570	3,647,570	0	3.3	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
170,195,000	18,660,285	151,534,715	11.0

### 4 要望事項等

ネパールとの文化都市交流において、写真展を開催する等市民への周知が図られています。今後もネパールを紹介する情報番組等の視聴を促すなど、折にふれて話題として取り上げることで、富士宮市におけるネパールの認知度を高め、この都市交流を深めることに努められたい。

## ◎ 秘 書 課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
課長補佐	1		1	
秘 書 係	4		4	
計	6	0	6	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

全国市長会や県市長会等への参加を通して、市政上に必要な情報を取得することにより、市政運営への成果に繋げることに努められております。当市の政策の参考とするために、国や他の自治体等の情報を得る場として、また国への要望を上げていく場として、負担金を担っている各種の会を有意義に活用していくことに引き続き努められたい。

#### (2) 処理済の事項

現在の社会経済情勢により、地方自治体は医療、教育、デジタルなどの分野において様々な課題に直面しています。

令和3年度に全国市長会役員（評議員）に就任したことに伴い、全国市長会の専門委員会にも出席しており、市では定期的に国から最新の情報（新規事業・制度改正）について説明を受けています。

また、各種課題に対しては、引き続き、県内各市と情報共有及び連携を図りながら県市長会を通じて国への要望を行うなど、各種会議を有効に活用して市政運営への成果に繋げてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,131,000	4,400,374	5,730,626	43.4

### 4 要望事項等

なし

## ◎ 広 報 課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
広聴広報係	5		5	
計	6	0	6	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

様々な工夫により、LINEの活用が定着化し、利用登録者数が順調に増加している中で、情報の配信が活発化しています。今後予定されているホームページのリニューアルとともに、広報紙とLINEをはじめとする各種のSNSの活用により、情報発信が拡大して市のイメージアップを図るという相乗効果を生み出すことに努めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

ホームページは令和7年5月21日にリニューアルが完了しました。新たな仕組みとして、公開されているページ毎に固有の番号(ページID)が付されるようになり、検索が容易になりました。このため、広報紙の掲載記事にもページID及び二次元コードを掲載し、広報紙を読んだ人をホームページに誘導して、詳細な情報を知ることができるようにする等、紙媒体とWEB媒体の連携を図っています。

また、広報紙に掲載したイベントやお知らせをLINEやfacebook等のSNSでも配信し、広く周知を行っています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,320,000	1,030,000	1,030,000	0	78.0	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
34,064,000	11,768,853	22,295,147	34.5

#### 4 要望事項等

ホームページのリニューアルが完了し、また、広報紙へのページIDや二次元コードの掲載を行うようになったことにより、紙媒体とWEB媒体との連携が図られるようになりました。今後も引き続き、情報を早期に伝えることを心がけ、更に、情報過多により大事な情報が薄れてしまうことのないよう努められたい。

また、それぞれの掲載内容について、市民等から各担当部署へ寄せられた意見等を共有し、記事作成の際に活用していくことにも努められたい。

## ◎デジタル推進課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
情報政策係	7		7	
調査統計係	4	3	7	病気休暇中1 育児休業中1
計	12	3	15	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

第3期共同電算事業において、国の方針の不確定要素やシステムベンダー不足等の影響による、システム移行に始まる各種作業の遅れが、計画全体の遅延に繋がると懸念されている中でも、実状の運用に支障が出ないよう努められています。今後も目標とされる期限を見据えた中で、パートナーである富士市と委託業者との3者で引き続き協議を重ねて、一つひとつの課題の抽出とその解決を行っていくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

第3期共同電算事業のうち、国の標準化対象システムでない人事給与システムや公営住宅管理システム等は、計画どおり推移し、年未年始での移行を行う予定です。  
標準化対象システムのうち、生活保護システム、介護認定システム、健康管理システム、戸籍システムについては、計画どおりの年未年始での標準化対応を実施予定です。  
子ども子育てや介護保険や障がい者支援等を行う福祉システムについて、標準化できないシステムとのデータ連携等の調整が複雑化することで、標準化の時期が年未年始から遅延する旨の申し出がありましたが、システムベンダーを含む4者協議を行い、1月中の標準化対応実施に向けて調整しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

令和8年3月31日までに標準化システムへ移行できない「特定移行支援システム」の対象となっている住民情報、税、保険年金や高齢介護システムは、延長された移行期限での完全移行にむけて、継続して日程調整等を行います。  
第3期共同電算事業の対象システムとするものが、標準化対応の移行時期の差異により、一元的な運用管理が困難になりますが、効率的かつ効果的な運用管理が実行できるように、富士市及び委託業者と綿密な協議を進めてまいります。

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
702,541,000	44,362,910	44,362,910	0	6.3	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,840,160,000	329,892,509	1,510,267,491	17.9

### 4 要望事項等

庁内における市民サービスの向上と、事務処理の効率化を図るため、業務改善コンサルティング委託業務を継続して行っています。専門業者からのアドバイスが、業務担当者自らの事務処理方法の見直しのきっかけになるよう、また、最終的にはDX化により、事務の効率化に繋げるよう、庁内における技術習得に努められたい。

## ◇ 財 政 部

### ◎ 財 政 課

#### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	土地開発公社事務局長を兼務
財 政 係	6		6	
管 財 係	4		4	土地開発公社事務局 係長を兼務1 主査を兼務2 事務員を兼務1
計	12	0	12	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

内外の様々な情勢の影響により、物価や人件費の高騰がとどまらず、先行きが不透明な経済情勢の中、将来の財政負担への備えとして、健全性の維持と財政基盤の強化が図られています。今後も引き続き、基金等の積み立てにより財源を確保することに努めるとともに、事業の選択と集中化を図って効率的な財政運営を推進されたい。

##### (2) 処理済の事項

令和6年度は、世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「2類相当」から「5類」へ引き下げられ、制限のない社会経済活動が再開されたことにより、景気の持ち直しが期待される一方、原油価格及び物価の高騰等により、日本経済は依然として厳しい状況下にあり、世界的な金融引き締めなどによる国内外経済の下振れリスクや金融資本市場の変動等による地方財政への影響など、先行きの不透明な状況となりました。

このような状況の下、本市の財政状況は令和5年度との比較において、歳入では、定額減税の影響もあり個人市民税6億3,744万円(△8.5%)の減が要因となり、根幹である市税が減額した一方、歳出では、性質別において、投資的経費が約14億3,887万円(+22.4%)増額となりました。

このような厳しい傾向は、今後も続くものと想定される中、社会保障費や公共施設の長寿命化への対策等も含めた持続可能な財政運営の確立が重要であるという視点に立ち、本市独自の財政規律を踏まえ、効率的な財政運営を推進していくための施策、事業の選択と集中化、歳入確保に向けて国・県支出金等の情報収集や新たな財源の捻出などに努めました。

<参考>

##### ○令和6年度決算における主な財政指標

- ①実質収支比率9.5% (R5:12.2%)
- ②経常収支比率93.8% (R5:90.3%)
- ③財政健全化判断比率
  - ・実質公債費比率3.6% (R5:3.4%)
  - ・将来負担比率 △19.4% (R5:△16.1%)
- ④市債残高(一般会計)  
31,883,943千円 (R5:31,973,774千円)

⑤財政調整基金

- ・新規積立 3,434,028千円、取崩し 2,055,777千円
- ・残高 8,672,694千円 (R5:7,294,443千円)

⑥主な特定目的基金への新規積立て

- ・ふるさと応援 930,943千円
- ・職員退職手当 300,242千円
- ・学校施設整備 201,965千円
- ・減債 165,056千円

(3) 未処理事項の処理予定

○令和7年度予算における健全化措置

(9月補正後)

基金の新規積立て

- ・財政調整 2,250,429千円
- ※取崩し 2,476,000千円
- ・ふるさと応援 920,288千円
- ・学校施設整備 202,299千円
- ・職員退職手当 200,928千円
- ・世界遺産富士山 99,392千円
- ・社会福祉施設整備 69,713千円

3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
18,689,425,000	8,790,856,528	8,784,945,028	5,911,500	47.0	99.9

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,057,877,000	3,431,536,082	4,626,340,918	42.6

## 4 市債の借入状況(一般会計)

(単位:千円)

借入先	6年度末 現在高	7年度 借入額 (4/1~9/30)	7年度 償還元金 (4/1~9/30)	7年10月1日 現在高
財務省財政融資資金	20,865,660	0	977,811	19,887,849
(旧)簡易生命保険資金	227,383	0	72,829	154,554
地方公共団体金融機構資金	7,791,171	0	167,206	7,623,965
清水銀行	941,527	0	98,941	842,586
富士宮信用金庫	357,568	0	17,190	340,378
富士伊豆農協	407,247	0	32,990	374,257
市町村職員共済組合	769,294	0	45,122	724,172
市町村振興協会	358,617	0	8,238	350,379
都市自治振興協会	153,930	0	25,685	128,245
全国市有物件災害共済会	11,546	0	3,372	8,174
計	31,883,943	0	1,449,384	30,434,559

## 5 要望事項等

地方債の現在高が減ったことにより、今後は、新たな起債の借り入れにより行う大規模な事業が増えていくと予測されます。引き続き、各課との綿密な情報共有に努めた上で、事業採択を行い、限度とされる将来負担比率を注視していくことに努められたい。

## ◎ 収 納 課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
税 制 係	5	4	9	
納 税 係	12	4	16	育児休業中2 静岡県から派遣1
特別滞納対策係	4	1	5	
計	22	9	31	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

納税相談においては、滞納者の個々の状況に応じて、柔軟かつ丁寧な対応が行われております。聞き取った相談内容は、的確に把握し、相談者の状況に応じた対応に心がけ、引き続き、定められた手続きに従って納税に繋げていくよう努められたい。

#### (2) 処理済の事項

納税者に対して、納税に関する説明をしっかりと行い、滞納処分と徴収緩和を適正に進めることで、公平、公正な徴収業務の推進を心掛けました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月14日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
21,646,532,000	20,991,767,114	11,908,437,371	9,083,329,743	55.0	56.7

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
319,627,000	201,710,873	117,916,127	63.1

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,555,101,000	3,185,998,172	923,457,047	2,262,541,125	36.1	29.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
27,736,000	14,113,763	13,622,237	50.9

4 市税及び国民健康保険税の収納状況(令和7年10月14日現在)

(単位:円・%)

区 分		調定額 A	収入済額 B	収入率 B/A
市 税	市 民 税	8,889,804,712	4,469,369,442	50.3
	固 定 資 産 税	9,851,085,200	6,446,643,804	65.4
	軽自動車税	517,782,351	493,558,330	95.3
	市たばこ税	470,618,247	470,618,247	100.0
	入 湯 税	9,936,600	9,920,750	99.8
	都市計画税	1,234,332,791	0	0.0
	計	20,973,559,901	11,890,110,573	56.7
国民健康保険税		3,169,622,794	906,779,896	28.6

5 要望事項等

個々の納税者の状況を丁寧に把握しながら、公平、公正な徴収業務が進められています。徴収業務においては、引き続き滞納処分と緩和制度の適切な運用に努め、滞納整理の促進に繋げるよう取り組まれます。

## ◎ 市民税課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
市民税係	11	5	16	
法人諸税係	4	1	5	育児休業中1
計	16	6	22	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

課税事務においては、必ず複数の職員が業務に携わり、併せて複数回のチェックを行ってケアレスミスの防止に努められています。数多くの法令が適用される中で、若手や経験の浅い職員が多く配置されており、経験のある職員が指導や育成に関わることが不可欠であるため、ベテラン職員によるOJTを活用するなど、引き続き研修等の場を通して、職員の育成に取り組むことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

引き続き、課税事務においては、複数人での複数回チェックを徹底する等ミスの発生防止に努め、職員の育成については、毎日の業務の中で実践的な指導を行うほか、外部研修へ積極的に参加するなどし、税知識の習得に取り組んでまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
61,000	107,547	60,300	47,247	98.9	56.1

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
681,450,000	456,184,519	225,265,481	66.9

### 4 課税の状況

#### (1) 市民税

(単位:円・件)

区分	令和7年9月30日現在		令和6年9月30日現在		比較 増 減	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
個人	7,754,318,400	72,722	6,760,660,700	72,058	993,657,700	664
法人	929,331,000	2,284	1,010,392,700	2,228	△ 81,061,700	56
計	8,683,649,400	75,006	7,771,053,400	74,286	912,596,000	720

## (2) 軽自動車税（環境性能割）

(単位:円・件)

令和7年9月30日現在		令和6年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
21,755,300	858	17,485,500	761	4,269,800	97

## 軽自動車税（種別割）

(単位:円・件)

令和7年9月30日現在		令和6年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
482,722,700	60,486	472,330,600	60,236	10,392,100	250

## (3) 市たばこ税

(単位:円・本)

令和7年9月30日現在		令和6年9月30日現在		比較増減	
金額	本数	金額	本数	金額	本数
470,618,247	71,828,182	483,581,415	73,806,688	△ 12,963,168	△ 1,978,506

## (4) 入湯税

(単位:円・件)

令和7年9月30日現在		令和6年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
9,936,600	66,244	10,842,900	72,286	△ 906,300	△ 6,042

## 5 個人市民税の申告状況(令和7年9月30日現在)

(単位:人・%)

申告書提出者数	22,316	当初賦課前提出者数 (割合)	21,560 (96.6)	当初賦課後提出者数 (割合)	756 (3.4)
---------	--------	-------------------	------------------	-------------------	--------------

## 6 要望事項等

課税事務において、ベテラン職員が経験の浅い職員とペアでサポートする体制を整え、常々、複数回のチェックを徹底されていることから、ミスの発生防止といった成果に繋がっています。引き続きこの体制を保ち、適正公平な課税事務に努められたい。

## ◎ 資産税課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
土地係	10	1	11	
家屋係	10	1	11	
計	21	2	23	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

課税事務については、県や他市町からの情報提供を密に行い、係内でその情報の共有や分析、研究に努められています。日頃から、社会情勢の流れを掴むことに心掛け、職務への影響を認識するよう努められたい。

固定資産税については、市民の方々の目が向けられるところであることから、引き続き適正な評価の下に、正確な課税が行われるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

新聞・報道資料などの課内回覧や、両係の打ち合わせでの周知を通じて、リスクマネジメントと課税関連情報の共有を行い、日頃から職員の情報リテラシー向上に努めています。

評価誤りや入力漏れなどのヒューマンエラーが生じないように、班員相互のチェック体制のもと、登記済通知書データの処理や評価入力を行っています。市民の大切な資産に課税する財産税であることを肝に銘じ、県や他市町、関係機関との連携を密に行い、課税客体の正確な把握と適正な評価・課税を心掛けています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
119,000	500	400	100	0.3	80.00

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
228,929,000	80,556,472	148,372,528	35.2

#### 4 課税の状況

##### (1) 固定資産税

(単位:円・件)

令和7年9月30日現在		令和6年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
9,710,180,900	56,887	9,626,251,300	56,998	83,929,600	△ 111

##### (2) 都市計画税

(単位:円・件)

令和7年9月30日現在		令和6年9月30日現在		比較増減	
金額	件数	金額	件数	金額	件数
1,218,221,400	36,398	1,204,567,000	36,415	13,654,400	△ 17

#### 5 償却資産申告数(令和7年9月30日現在)

(単位:件)

対象	免税点未満	免税点以上	計
個人	2,728	765	3,493
法人	2,112	1,638	3,750
全体	4,840	2,403	7,243

#### 6 要望事項等

課税事務において、念入りなチェックを行い、適正な評価に努められています。納税者にとっては、貴重な財産に対する課税であることから、課税状況に対する説明責任が果たせるよう、日頃から備えておかれることを要望します。

## ◇ 市 民 部

### ◎ 市 民 生 活 課

#### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
課 長 補 佐	1		1	
室 長	1		1	交通対策室 室長
市民安全係	5	1	6	育児休業中1
くらしの相談係	3	6	9	育児休業中1
交通対策室	3	1	4	
計	15	8	23	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

富士宮市の地域公共交通計画策定業務が進められている中で、市域が広く、地域ごとの状況に差があると思われるため、他の先進的な地域の取り組みなども参考に、課題の洗い出しを行いながら検討していくことを要望します。

また、自治会が管理する区民館等への空調設備の設置や更新に対し支援を行っているが、近年の猛暑時期における高齢者を含んだ自治会員の活動の一助となるよう、引き続き自治会施設の環境整備をサポートすることに努められたい。

##### (2) 処理済の事項

地域公共交通計画の策定に際しては、他市の取組等の情報収集を行っており、また、市内全域で運行する宮タクについては、携帯電話の位置情報を使用したGPSデータをもとに、エリアごとの潜在需要の分析を行い課題を抽出し、乗降場所の追加の可能性などの改善策を検討しました。

また、自治会が管理する区民館等への空調設備設置事業に対する補助金について、引き続き制度活用について周知し、自治会活動の一助になるよう努めます。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
31,899,000	3,273,900	2,933,900	340,000	9.2	89.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
407,983,000	94,527,736	313,455,264	23.2

4 市民活動災害補償制度の給付状況

(単位:件・円)

区 分	件 数	保険給付額(総額)	最高給付額	平均給付額
令和7年9月30日現在	1	6,000	6,000	6,000
令和6年9月30日現在	3	32,000	14,000	10,667

5 宮バスの利用状況(令和7年9月30日現在)

(単位:人・日)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)	運行日数
中 央 循 環	16,796	91.8	183
東 南 循 環	3,278	25.8	127
北 循 環	6,100	48.0	127
芝 川 系 統	8,624	54.6	158
合 計	34,798		

6 宮タクの利用状況(令和7年9月30日現在)

(単位:人)

区 分	利用人数	平均乗車人数 (1日当たり)
山 宮 エ リ ア	1,410	1.79
山 本 エ リ ア	1,232	1.89
上 野 エ リ ア	1,179	2.03
南 部 エ リ ア	549	1.54
富 士 根 エ リ ア	576	1.72
北 山 エ リ ア	1,361	1.51
北 部 エ リ ア	567	1.49
内 房 エ リ ア	847	1.53
芝 富 エ リ ア	134	1.19
稲 子 エ リ ア	20	
合 計	7,875	

## 7 要望事項等

宮タク事業については、携帯電話の位置情報を使用したデータをもとに潜在需要を分析し、課題の抽出と改善策の検討が行われています。利用者の多くを占める高齢者層の通院や買い物への手段を確保できるよう、実用化に繋がる新たな方法も視野に入れ、更に検討を進めることを要望します。

## ◎ 市民交流課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
室長	1		1	女性が輝くまちづくり推進室 室長
市民交流係	4	8	12	市民課市民係 主幹を兼務1 主査を兼務1 主事を兼務1 事務員を兼務1  収納課税制係 主幹を兼務1 主査を兼務1 主事を兼務1 事務員を兼務1
女性が輝くまちづくり 推進室	4	2	6	育児休業中1
計	10	10	20	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

多くの国際交流事業が進められている中で、中学生を対象とするニュージーランドへの「世界にはばたくこどもたち育成事業」については、豊かな国際感覚の醸成や人材育成を目的として積極的に実施されています。未来あるこどもたちにとって、海外の国を訪れる経験は、単なる語学研修にとどまらず、他の国の方の人間性に触れることも貴重な体験となり、自己研鑽に繋がることから、引き続きこの事業を実施していくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

中学生を海外英語圏に派遣する世界にはばたくこどもたち育成事業では、定員を大きく上回る応募(55人)があり、作文と面接による選考を経て、30人の中学生をニュージーランドに派遣しました。

参加者からは、英語力に自信が持てた、文化の違いを知り国際交流の面白さを感じた、研修での経験を将来に生かしたいといった評価をいただいていることから、今後も中学生をはじめとした市民の方により多くの国際交流の機会を提供できるよう、引き続き海外都市との友好親善に努めます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
8,011,000	1,329,018	1,290,943	38,075	16.1	97.1

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,182,319,000	425,385,352	756,933,648	36.0

### 4 要望事項等

市内在住外国人と併せて市民の方々に対し、「やさしい日本語教室」を開催するなど、多文化共生に関する事業に力を入れています。増えつつある外国人労働者に対しては、従業員として受け入れている企業と連携して出前講座を実施するなど、市内の多文化共生に、引き続き積極的に取り組んでいくことを要望します。

また、第4次富士宮市男女共同参画プランの策定においては、意識調査によって得た、市民や中でも中学生からの意見要望を、市内企業の職場環境の改善に繋げられるよう、プランに盛り込み、実現化を検討することを要望します。

## ◎ 市 民 課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
庶 務 係	3		3	
市 民 係	7	16	23	育児休業中2 病気休業1
記 録 係	8	9	17	育児休業中1
計	19	25	44	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

マイナンバーカード交付事業については、新たに各出張所においてもカードに関する各種業務を行えるよう、北部、芝川地域等の市民の方々へのサービスの拡大に努められています。出張所を訪れる方は高齢者中心の年齢層であるため、スムーズに手続きが進み、より丁寧な対応がとれるよう、出張所職員の知識の習得と実務の向上をサポートしていただくよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

各出張所のマイナンバーカード事務の取り扱いにつきましては、令和6年12月から令和7年1月にかけて、出張所職員が本庁に出向いて丁寧に研修を重ね、令和7年2月より運用が開始されました。これに合わせ、広報ふじのみややホームページへの掲載だけでなく、出張所でのマイナンバーカード手続きの推奨チラシを北部地域に全戸配布を行いました。

また、令和7年9月には、マイナンバーカードから個人情報を読み取り、各種申請書に自動で印字できる申請書作成支援システムを各出張所に導入し、高齢者等の申請書の記入が困難な方に配慮した、「書かない」「待たない」窓口を整備しました。

引き続き、知識の継承と実務の向上に努めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
166,046,000	27,758,436	27,669,106	89,330	16.7	99.7

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
318,924,000	120,632,037	198,291,963	37.8

## 4 本籍数等の状況

(単位:戸・人)

区 分	本籍数	住 民 基 本 台 帳			
		世帯数	人 口		
			男	女	計
令和7年9月30日現在	57,081	59,842	62,768	63,272	126,040
令和6年9月30日現在	57,424	59,290	63,190	63,965	127,155

(注1) 5出張所分を含む。

(注2) 外国人住民を含む。

## 5 戸籍・住民票の写し等の取扱状況

(単位:件)

区 分	戸 籍 関 係	住民票 関 係	印 鑑 関 係	行 政 証 明	臨時運 行許可	火葬場 霊柩車	計
令和7年9月30日現在	20,182	27,338	18,075	861	528	1,001	67,985
令和6年9月30日現在	23,177	28,949	18,794	641	552	1,046	73,159

(注) 5出張所、5公民館、2交流センター分を含む。

## 6 マイナンバーカード取扱件数(令和7年9月30日現在)

(単位:件・枚・%)

受付件数	1,438	申請総数	139,314	申請率	110.3
交付枚数	8,479	交付総数	122,244	交付率	96.8

## 7 ご遺族手続き支援コーナー利用状況(令和7年9月30日現在)

340 件

## 8 要望事項等

マイナンバーカードの交付事業については、職員が施設等へ出張して手続きをサポートするなど、普及率向上に努められています。特に保有率が低い高齢者層に対しては、医療機関等の利用頻度が高い傾向にあることから、マイナンバーカードを保険証として活用する利便性を高めるためにも、より一層の普及拡大に努められたい。

## ◎ 出張所

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

#### (1) 北山出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	1	2	
計	2	1	3	

#### (2) 上野出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	1	2	
計	2	1	3	

#### (3) 上井出出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	2	3	
計	2	2	4	

#### (4) 白糸出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	1	2	3	
計	2	2	4	

#### (5) 芝川出張所

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
所長	1		1	
出張所職員	2	1	3	
計	3	1	4	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

出張所では、地域住民からの様々な相談に対して、本庁等の関係部署と密に連絡を取り、連携に努められています。出張所を訪れる方は、高齢者が多いと思われるので、引き続き、親切丁寧な対応を心がけるよう努められたい。

### (2) 処理済の事項

#### ○ 北山出張所

窓口業務を行うにあたって、関係部署開催の研修や2か月毎に開催される市民課・出張所事務連絡会を活用して知識の習得に努めています。これからも地域の方に頼りにしていただけるよう、来所する方一人一人に対して、どのような目的や要望があるのかをしっかりと聞き取り、関係部署へ確認や連携をとりながら常に親切丁寧に対応をするよう努めます。

#### ○ 上野出張所

地域住民の身近な窓口として、相談や要望等に対応しています。高齢者の立場に立ち、敬意をもって接し、ゆっくりはっきりとした声で話す、相手のペースに合わせて話を聞く、といった対応を心がけています。

#### ○ 上井出出張所

出張所では、地域住民の皆様からのご相談に対し、引き続き本庁や関係部署と緊密に連携を図りながら、迅速かつ確な対応に努めてまいります。また、ご来所される方々の中には高齢の方も多くいらっしゃることを踏まえ、職員一同、親切丁寧な対応を心がけ、安心してご相談いただける環境づくりに努めてまいります。

#### ○ 白糸出張所

出張所につきましても、地域住民の方が何でも相談できるような身近な窓口となっており、窓口に来られる方の中には高齢者の方も少なからず見受けられます。このため、地域住民の方が来所された際には、その方の話をよく聞き、必要があれば関連部署とも連携を取りながら、丁寧な対応ができるように努めています。

#### ○ 芝川出張所

出張所は、地域住民のニーズに応えるために、本庁等の関係部署と連携をとりながら、住民の生活を支える多様な情報やサービス提供に努めています。

高齢者が多く訪れる出張所として具体的に心がけていることは、高齢者の声に耳を傾け、感情に寄り添いながら、ゆっくりと分かりやすい言葉で説明することにより、信頼感に繋がっています。

地域住民とのコミュニケーションを大切にしながら、親切丁寧な対応を心がけています。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

(1) 北山出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,327,000	1,263,717	1,254,814	8,903	94.6	99.3

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
8,490,000	4,034,628	4,455,372	47.5

② 北山財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
29,000,000	28,794,526	28,532,916	261,610	98.4	99.1

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
29,000,000	1,674,018	27,325,982	5.8

(2) 上野出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,000	4,660	4,660	0	155.3	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
135,914,000	49,238,593	86,675,407	36.2

(3) 上井出出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
9,200,000	9,200,000	6,200,000	3,000,000	67.4	67.4

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
21,031,000	11,512,372	9,518,628	54.7

② 上井出区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
30,000,000	25,703,285	25,702,244	1,041	85.7	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
30,000,000	3,000,000	27,000,000	10.0

③ 猪之頭区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
38,000,000	33,538,558	33,082,241	456,317	87.1	98.6

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
38,000,000	4,512,000	33,488,000	11.9

④ 根原区財産区特別会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,000,000	10,067,130	9,730,568	336,562	97.3	96.7

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,000,000	305,000	9,695,000	3.1

(4) 白糸出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
4,000	4,500	4,500	0	112.5	100.0

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
9,763,000	4,544,335	5,218,665	46.5

(5) 芝川出張所

① 一般会計

(ア) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
352,000	162,297	148,223	14,074	42.1	91.3

(イ) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
10,876,000	3,531,437	7,344,563	32.5

4 世帯数及び人口の状況(令和7年9月30日現在)

(単位:戸・人)

区 分	住 民 基 本 台 帳			
	世 帯 数	人 口		
		男	女	計
北山出張所	3,580	3,838	3,564	7,402
上野出張所	2,135	2,220	2,196	4,416
上井出出張所	1,631	1,654	1,525	3,179
白糸出張所	787	859	869	1,728
芝川出張所	3,273	3,603	3,739	7,342
計	11,406	12,174	11,893	24,067

5 公有財産(令和7年9月30日現在)

(1) 北山財産区特別会計

① 土地(地積)

(単位:m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	390,000.13	0.00	390,000.13
貸 付 地	48,196.79	0.00	48,196.79
計	438,196.92	0.00	438,196.92

## ② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	390,000.13	0.00	390,000.13
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原によるもの	0.00	0.00	0.00
計	390,000.13	0.00	390,000.13

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎥）

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	13,622
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	13,622

## ④ 物品

（単位：台）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
連絡用自動車	1	0	1

## ⑤ 基金

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高	
有価証券	債 券	520,000,000	0	520,000,000
	債 権	0	0	0
現 金	預 金	111,411,064	0	111,411,064
	債 権	0	0	0
計	631,411,064	0	631,411,064	

⑥ 土地貸付収入の状況 9件

(単位:円・%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
北山区 3件	83,000	83,670	83,670	0	100.8	100.0
山宮区 6件	110,000	110,333	110,333	0	100.3	100.0
合計	193,000	194,003	194,003	0	100.5	100.0

(2) 上井出区財産区特別会計

① 土地 (地積)

(単位:m<sup>2</sup>)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	85,934.00	0.00	85,934.00
原 野	24,999.00	0.00	24,999.00
宅 地	84,108.81	0.00	84,108.81
畑	2,043.00	0.00	2,043.00
墓 地	2,669.19	0.00	2,669.19
そ の 他	19,491.20	0.00	19,491.20
計	219,245.20	0.00	219,245.20

② 山林 (面積)

(単位:m<sup>2</sup>)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	85,934.00	0.00	85,934.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原に よるもの	0.00	0.00	0.00
計	85,934.00	0.00	85,934.00

③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）（単位：m<sup>3</sup>）

土地の権利区分	前年度末現在高
所有	0
分収	0
その他の権原によるもの	0
計	0

④ 基金（単位：円）

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債券	349,980,273	0	349,980,273
	債権	0	0	0
現金	預金	73,263,727	0	73,263,727
	債権	0	0	0
計		423,244,000	0	423,244,000

⑤ 土地貸付収入の状況 6件（単位：円・%）

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,279,000	2,279,790	295,270	1,984,520	13.0	13.0

(3) 猪之頭区財産区特別会計

① 土地（地積）（単位：m<sup>2</sup>）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山林	8,498,782.00	0.00	8,498,782.00
原野	2,265.00	0.00	2,265.00
宅地	5,507.55	0.00	5,507.55
田・畑	2,406.00	0.00	2,406.00
その他	683.00	0.00	683.00
計	8,509,643.55	0.00	8,509,643.55

## ② 山林（面積）

（単位：㎡）

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	8,498,782.00	0	8,498,782.00
分 収	0	0	0
その他の権原によるもの	0	0	0
計	8,498,782.00	0	8,498,782.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

（単位：㎥）

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	253,925
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	253,925

## ④ 出資による権利

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出 資 金	200,000	0	200,000

## ⑤ 基金

（単位：円）

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
有価証券	債 券	69,703,094	0	69,703,094
	債 権	0	0	0
現 金	預 金	30,792,906	0	30,792,906
	債 権	0	0	0
計		100,496,000	0	100,496,000

## ⑥ 土地貸付収入の状況 16件

（単位：円・％）

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
7,704,000	7,701,768	2,464,444	5,237,324	32.0	32.0

## (4) 根原区財産区特別会計

## ① 土地（地積）

(単位:㎡)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
山 林	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00
原 野	2,812,485.00	0.00	2,812,485.00
宅 地	915.01	0.00	915.01
畑	97,856.00	0.00	97,856.00
墓 地	4,017.00	0.00	4,017.00
計	6,415,498.01	0.00	6,415,498.01

## ② 山林（面積）

(単位:㎡)

土地の権利区分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
所 有	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00
分 収	0.00	0.00	0.00
その他の権原によるもの	0.00	0.00	0.00
計	3,500,225.00	0.00	3,500,225.00

## ③ 立木の推定蓄積量（立木の推定蓄積量は、森林簿による。）

(単位:m<sup>3</sup>)

土地の権利区分	前年度末現在高
所 有	81,660
分 収	0
その他の権原によるもの	0
計	81,660

## ④ 出資による権利

(単位:円)

区 分	前年度末現在高	年度中増減高	年度中現在高
富士森林組合 出 資 金	100,000	0	100,000

## ⑤ 土地貸付収入の状況 7件

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,790,000	2,765,613	2,334,551	431,062	83.7	84.4

## 6 要望事項等

出張所は、地域の方々にとって、様々な手続きや相談事を寄せられる拠り所になっています。中でも、高齢者が多く来所されることから、時には近況情報を得る機会にも繋がるため、引き続き、目配り、気配りした対応に努められたい。

また、マイナンバーカードに係る一部の手続きが対応できるようになったことから、今後も出張所での市民サービスの拡大に努められたい。

## ◎ 保険年金課

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
保 険 給 付 係	7	2	9	
資 格 賦 課 係	4	2	6	
後期高齢者保険係	6	2	8	静岡県後期高齢者医療広域連 合へ派遣1
国 民 年 金 係	3	2	5	
計	21	8	29	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

医療費抑制のための試みとして、社会保障全般について、市民の方に興味を持っていただくため図書館コーナーを設置するなど情報発信を行い、積極的な啓発活動が行われています。啓発活動は、重ねて行うことにより効果が表れることから、今後も様々な場所と機会を利用して行い、保険料や特定検診などの社会保障に関する事項への、市民の関心を高められるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

継続して他市町の取組を研究していくとともに、人が集まる場所を利用した啓発活動として、中央図書館と連携して図書コーナーを設置しました。

期 間：9月28日から10月23日まで

場 所：富士宮市立中央図書館

テーマ：予防しよう！生活習慣病～健康診断活用のすすめ～

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況（令和7年10月3日現在）

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
787,465,000	10,428,000	10,428,000	0	1.3	100.0

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,748,075,000	1,538,916,517	1,209,158,483	56.0

(2) 国民健康保険事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,540,280,000	4,400,049,786	4,199,430,902	200,618,884	39.8	95.4

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
13,055,921,000	4,781,844,718	8,274,076,282	36.6

(3) 後期高齢者医療事業特別会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,809,676,000	3,124,671,032	2,052,574,302	1,072,096,730	53.9	65.7

② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
3,809,676,000	1,634,208,589	2,175,467,411	42.9

4 国民健康保険被保険者の状況（令和7年9月30日現在）

(単位:世帯・人・%)

区分	市総数 A	被保険者数 B	加入率 B/A
世帯数	59,842	16,639	27.80
人員	126,040	24,199	19.20

5 静岡県後期高齢者医療広域連合の被保険者数（令和7年8月31日現在）（単位：人）

富士宮市	22,338	広域連合	635,151
------	--------	------	---------

6 要望事項等

各係において、それぞれが独立した事業会計のもと、職員が専門職的な立場で業務を行っています。日ごろから、相互の業務への理解を深めるよう心掛け、風通しの良い職場環境作りに努められたい。

## ◇ 産 業 振 興 部

### ◎農 業 政 策 課

#### 1 職員の配置状況(令和7年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	農業委員会事務局長を併任
課 長 補 佐	1		1	
室 長	1		1	食のまち推進室 室長
農 業 係	6	1	7	
畜産・養鱒係	4	2	6	
林 業 係	4	3	7	
食のまち推進室	1	1	2	
計	19	7	26	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

酪農家の経営基盤を強化するため、稲わらと畜産堆肥の交換を進め、飼料の負担軽減を図ることに努めています。当市が発信元となり、県内各地へ広めている好事例であることから、酪農家だけでなく、稲作農家への支援も強化して、稲わらの回収率の向上に繋げ、双方の農業の活性化に寄与されたい。

##### (2) 処理済の事項

牛肉価格は豚肉や鶏肉と比較すると低迷していて、また生乳価格も需給状況や市場動向、経済環境また乳業者や酪農生産者の経営状況など、さまざまな要因から総合的に決められております。酪農は諸経費が増加しても価格への転嫁が難しい業態であります。

一方、家畜ふん尿は畜産環境問題の発生要因となりますが、土壌改良資材や肥料としての利用価値が高い資源であります。昨今の海外情勢などの影響で化成肥料は高騰しており、耕種農家にとっても畜産堆肥の利用は経費削減の効果があります。

このため、畜産農家と耕種農家との連携として、稲わらと堆肥との交換や、稲わらの収集及び飼料化についての推進を行っております。輸入飼料の依存を減らし、持続可能な畜産経営を確立できるよう、自給飼料率を高める取組を進めてまいります。

令和6年度は20トンの稲わらを回収し、代わりに49トンの畜産堆肥を田に散布しました。令和7年度も前年度と同等量を見込んでいます。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
309,710,000	54,650,110	52,904,575	1,745,535	17.1	96.8

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
554,096,000	207,860,558	346,235,442	37.5

4 農業経営基盤強化促進事業(認定農業者制度) (令和7年12月1日現在)

(単位:人)

認定農業者数	営農種別ごとの内訳
158	酪農49、肉用牛9、養豚9、養鶏6、茶23、露地野菜24、施設野菜18、 果樹類1、花き・花木14、稲作2、雑穀・いも類・豆類1、 その他2(コケ類・孵卵)

5 農地中間管理事業(農地利用集積) (令和7年12月1日現在)

(単位:筆・ha)

区 分	筆 数	面 積
賃 借	299	46.94
売 買	8	6.80
計	307	53.74

6 要望事項等

農業者の高齢化や担い手不足が深刻化する中で、スマート農業機器の活用が注目されています。農業の省力化、効率化に有効である、スマート農業機器の購入補助金やスマート農業活用支援補助金の活用について、引き続き周知に努め、農業経営の存続を図りたい。

## ◎ 観光課

### 1 職員の配置状況(令和7年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
観光企画係	3	1	4	
観光施設係	4		4	
計	8	1	9	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

富士山をはじめとした市内の観光地を訪れる外国人観光客を増やすために、積極的に誘致活動を行っています。テストツアーなどを実施して、誘致を研究されているようですので、それぞれの観光地にまつわる歴史や文化の要素を発信するなど、誘客が行える方法を検討することを要望します。

#### (2) 処理済の事項

富士山の価値や富士登山の歴史を体感できるツアー動画等を活用して、海外イベントやSNS等でPRしました。

また、主要観光地5ヵ所(白糸ノ滝、村山浅間神社、人穴富士講遺跡、山宮浅間神社、富士山本宮浅間大社)にまつわる解説文(16種)の多言語表記を作成し、外国人観光客に地域の歴史や文化に関する魅力を伝えるための環境を整備しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年12月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
89,620,000	41,898,667	33,850,189	8,048,478	37.8	80.8

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
431,178,000	237,919,391	193,258,609	55.2

#### 4 観光諸行事の状況（令和7年12月3日現在）

行 事 名		実 施 月 日	参 加 人 員	備 考
やぶさめ祭		5月4日～6日 (3日間)	85,000 人	浅間大社
富士山 まつり	富士山お山開き	7月10日	2,500 人	浅間大社、 村山浅間神社
	富士山御神火まつり	8月 2日	36,000 人	浅間大社、 市街地
	宮おどり	8月 3日	10,000 人	浅間大社、 市街地
	富士の巻狩り			
	狩宿さくらまつり	4月5日～6日 (2日間)	2,500 人	狩宿の下馬桜周辺
	陣馬の滝まつり	8月24日	3,000 人	陣馬の滝周辺
	芝川日和			
	内房たけのこ・桜まつり	4月 6日	1,500 人	内房稲瀬川沿い
	梅の里稲子まつり	6月 8日	2,700 人	新稲子川温泉 ユウ・トリオ
柚野の里縄文まつり	11月22日	2,200 人	大鹿館遺跡	
富士山衛生センター開設 (八合目診療所)	7月22日～9月7日 (48日間)	医師8名、補助者7名 診療件数 299 件	富士山	
富士宮まつり	11月3日～5日 (3日間)	30,000 人	浅間大社、 市街地	
信長公黄葉まつり	11月 9日	3,000 人	富士山西山本門寺	
富士と琵琶湖 を結ぶ会	近江八幡市来宮	8月8日～8月10日 (3日間)	来訪者 12 人	浅間大社
	近江八幡市訪問	11月6日～7日 (2日間)	参加者 45 人 (一般市民27人、行政 関係12人、観光協会6人)	近江八幡市

#### 5 要望事項等

富士市とで組織する富土地域観光振興協議会の活動の一環として、海外向けに積極的なPR活動が行われています。今後も引き続き、様々な手法で富士宮市の魅力を発信し、インバウンド需要の拡大にも努められたい。

## ◎ 商工振興課

### 1 職員の配置状況(令和7年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	富士宮市勤労者共済会事務局長を兼任
工業振興・労政係	3	1	4	
知財戦略・商業係	3	2	5	
計	7	3	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

中小企業振興を先駆的に推進している川崎市との間で、活発なイベント交流が行われています。交流の形態が、単なる物販にとどまらず、ビジネスマッチングの場として発展しているため、今後の中小企業の経営に新たな事業展開をもたらすよう、継続して事業の充実に努められたい。

#### (2) 処理済の事項

「中小企業相互交流促進事業」から誕生したフジヤマクラフターズは、業種の垣根なく横のつながりを大切に、手を取り合い、富士宮のものづくりを皆で盛り上げ・情報発信していこうという取り組みです。市内企業同士の連携の形ができつつあり、川崎市とも本事業の枠を超えて中小企業同士での協業が自発的に進むなど、一過性のイベント交流に留まらない事業の広がりを感じています。

加えて、本年度の「中小企業相互交流促進事業」では、これまでの本事業の中で洗い出した富士宮の中小企業の課題である「広報発信力の強化」を主なテーマの一つに掲げています。日ごろ、神奈川県で地域経済を下支えしている中小企業や小規模事業者に特化して取材し、中小企業経営者の協業先の発掘や販路拡大、連携につながる情報を発信している「かながわ経済新聞」、地域に力点を置き地域創生の情報発信を行っている岡山県の市民メディア「エイトビットニュース」、静岡県を中心に地域の魅力を発信している「TOKAIケーブルネットワーク」の3社にご協力いただき、中小企業の新たな事業展開をもたらすべく、市内の製造業の日頃のものづくり活動、フジヤマクラフターズの活動や商品開発の様子などを取材・発信し、中小企業単体では難しい情報発信・販路開拓の分野への取り組みについてもチャレンジしているところです。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
208,653,000	2,455,411	2,051,761	403,650	1.0	83.6

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
792,563,000	647,504,426	145,058,574	81.7

4 中小企業に対する各種融資制度とその状況(令和7年11月30日現在) (単位:円・件・%)

	小口資金 融資制度	短期経営改善資金 融資制度	中小企業育成 融資制度
資金用途	運転・設備資金	運転資金	運転・設備資金
融資額	19,880,000	133,100,000	1,595,000,000
融資件数	7	42	28
融資債務残高 (金額)	67,568,000	61,900,000	8,481,000,000
融資債務残高 (件数)	32	15	158
利子補給金 B	173,634	107,270	—
市預託金 B	—	—	10,000,000
予算額 A	435,000		10,000,000
予算額に対する 実績の比率 B/A	64.58		100.0

5 要望事項等

市内中小企業相互交流促進事業の一環として誕生した、フジヤマクラフターズの活動が、新たに展開されています。他業種のものづくりを行う企業同士が連携し、単体では不得手な情報発信や販路開拓へも取り組む活動に対し、引き続きのサポートに努められたい。

## ◇ 環 境 部

### ◎ 環境企画課

#### 1 職員の配置状況(令和7年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
室 長	1		1	環境エネルギー室 室長
環境衛生係	3	2	5	
環境エネルギー室	4	2	6	河川課計画係 主任主査が兼務1
計	10	4	14	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

ゼロカーボンシティの実現に向けて、こどもたちにも環境への意識の向上を図ってもらうために、毎年アース・キッズ事業が行われています。児童が、ゲーム感覚で楽しく体験することにより、環境に対する意識が高められていることから、こどもたちを通じて各家庭への環境に対する意識向上に繋げることで、取り組みの成果を上げられるよう努められたい。

##### (2) 処理済の事項

令和7年度は小学校6校でアース・キッズ事業を実施し、447名の児童が地球温暖化防止に向けて取り組みました。その他、こども向けの環境教育として宮エコキッズ事業や出前講座を実施しました。

引き続き、これらの環境教育を継続し、こどもたちの環境意識の向上に努めていきます。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年12月15日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
28,204,000	20,442,293	19,881,853	560,440	70.5	97.3

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
300,290,000	169,502,883	130,787,117	56.4

4 富士宮聖苑の利用状況(令和7年11月30日現在)

(単位:日・件)

区 分	稼動日数	火 葬		火 葬 ( 小 動 物 等 )	
		件 数	1 日平均	件 数	1 日平均
市 内	203	988	4.87	140	0.69
市 外		26	0.13	1	0.00
計		1,014	5.00	141	0.69

5 要望事項等

こども達に対する環境への意識付けを目的に、アース・キッズ事業や宮エコキッズ事業、出前講座等の環境教育に取り組まれています。市内の小中学校でまんべんなく開催されることにより効果が上がることから、引き続き各学校での開催に積極的に取り組まれない。

## ◎ 生活環境課

### 1 職員の配置状況(令和7年12月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
環境保全係	4		4	
廃棄物対策係	5		5	
計	10	0	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

4月からプラスチックごみの分別収集が始まり、清掃センターの延命化や二酸化炭素の排出量の減少等の環境面でも寄与されています。積極的な周知の成果が表れ、市民の分別意識の向上に繋がっていることから、今後もあらゆるごみの分別や再資源化に着目して、ごみの減量化に努められたい。

#### (2) 処理済の事項

令和6年度に引き続き、要望があった区や団体に対して出前講座、富士山学習を実施するとともに広報紙、ホームページ、ラジオ、SNS等を活用し、ごみの減量化、再資源化の啓発を行っております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

使用済み紙おむつ等、資源化に向けた新たな分別項目について、収集、運搬の経費や資源化の経費の増大等を考慮し、引き続き検討していきます。

3 予算の執行状況(令和7年12月3日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
19,318,000	19,593,977	18,088,615	1,505,362	93.6	92.3

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
711,173,000	409,910,451	301,262,549	57.6

4 公害苦情の状況(令和7年11月30日現在)

(単位:件)

大気関係	水質関係	騒音関係	悪臭関係	振動関係	その他	計
15	3	16	10	1	0	45

5 ごみ収集の状況

(単位:日・t)

区分	令和7年11月30日現在			令和6年11月30日現在			比較増減			
	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量	収集日数	収集量	1日平均収集量	
可燃物	204	13,249.75	64.95	206	13,552.35	65.79	△ 2	△ 302.60	△ 0.84	
不燃物	65	611.31	9.40	70	662.19	9.46	△ 5	△ 50.88	△ 0.06	
乾電池	65	21.37	0.33	70	21.04	0.30	△ 5	0.33	0.03	
瓶	生ビン	40	3.26	0.08	40	3.53	0.09	0	△ 0.27	△ 0.01
	カレット		381.99	9.55		397.01	9.93		△ 15.02	△ 0.38
缶	スチール	39	78.20	2.01	40	93.47	2.34	△ 1	△ 15.27	△ 0.33
	アルミ		58.96	1.51		60.76	1.52		△ 1.80	△ 0.01
スプレー缶	35	19.43	0.56	40	21.80	0.55	△ 5	△ 2.37	0.01	
ペットボトル	79	231.57	2.93	80	233.01	2.91	△ 1	△ 1.44	0.02	
プラスチック	169	708.80	4.19	172	735.52	4.28	△ 3	△ 26.72	△ 0.09	
紙パック	43	11.15	0.26	40	10.60	0.27	3	0.55	△ 0.01	
粗大ごみ	10	104.83	10.48	10	105.01	10.50	0	△ 0.18	△ 0.02	
蛍光灯等水銀使用製品廃棄物	10	2.65	0.27	10	2.99	0.30	0	△ 0.34	△ 0.03	

6 要望事項等

ごみの減量化、再資源化に関しては、日ごろから研究、検討が進められています。収集業務や清掃センターでの経費節減に繋がることから、引き続き県や他の自治体の情報を意識し、先進地等の施策を積極的に検討し、ごみの減量化や再資源化を進められたい。

## ◎ 花と緑と水の課

### 1 職員の配置状況(令和7年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
公園緑地係	5	3	8	育児休業中1
自然保全係	3		7	
		4		富士山環境交流プラザ
計	9	7	16	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

利用者の方々が、安全で安心、快適に利用できるよう、大がかりな都市公園の整備事業が、次々に進められています。バリアフリー化や遊具の更新及び新規設置、さらには災害時の活用を含め、希少野生生物の保護にも配慮するなど、多角的な視点から、利用価値の向上に繋がる公園整備に努められたい。

#### (2) 処理済の事項

既存の公園については、国庫補助事業を活用した公園施設のバリアフリー化及び長寿命化による遊具の更新を進めております。

また、希少野生生物の保護については、現在、風致公園である明星山公園再整備事業の設計に伴い、令和6年度から希少野生生物調査及び保全計画の作成に取り組んでおり、県のレッドデータブックに掲載されている絶滅危惧種についての保護に配慮した計画を作成中です。

#### (3) 未処理事項の処理予定

遊具の新設については、市民のニーズに合わせて遊具も多様化しているため、比較的に遊具の設置場所が確保できる公園の新設や再整備に合わせて計画しており、令和8年度に計画している城山公園の広場整備では、幼児用遊具、子ども用遊具、健康遊具、インクルーシブ遊具など様々な遊具の設置を計画しております。

また、土地利用事業に伴い帰属される公園については、土地利用事業者が市に公園の構造や設置施設の協議が行われるため、可能な限り遊具が設置できるよう要望しており、更に可能であれば、健康遊具の設置も要望するなどして、今後も多角的な利用価値の向上に努めていきます。

### 3 予算の執行状況(令和7年12月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
132,611,000	2,125,489	2,082,237	43,252	1.6	98.0

#### (2) 歳出

(単位：円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
881,133,000	396,432,686	484,700,314	45.0

## 4 公園等の状況（令和7年12月3日現在）

（単位：箇所・㎡）

区 分	箇 所 数	面 積	平 均 面 積
都 市 公 園	34	864,015	25,412
小 公 園	120	37,925	316
広 場	17	219,068	12,886
緑 地	26	126,762	4,875
計	197	1,247,770	6,334

（注）都市公園は、都市公園法による公園とする。

## 5 樹木等の保存指定の状況（令和7年12月3日現在）

（単位：件）

区 分	指 定 件 数
樹 木 （ 本 ）	42
樹 林 （ か 所 ）	19
湧 水 池 （ か 所 ）	16
計	77

## 6 要望事項等

白糸自然公園内に屋外ステージの建設を計画されていますが、市民にとって利用価値が高く、また、公園内に調和したものを建設して、ますます白糸自然公園が活発に利用されるようになることを要望します。

## ◎ 清掃センター

### 1 職員の配置状況(令和7年12月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
所 長	1		1	
総 務 係	2	2	4	
施 設 係	9		9	
計	12	2	14	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

4月から開始されたプラスチックごみの分別収集について、市民への周知が図られ、可燃ごみの大幅な減少という成果が表れています。可燃ごみの減少は、焼却炉の維持管理に良好な影響をもたらすことから、今後も関係課と連携して、ごみの減量化と啓発に引き続き取り組むことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

令和6年度からプラスチックごみの分別収集が実施されたことにより、家庭から排出される可燃ごみの量を3,229t、率にして14.2%削減することができました。また、可燃ごみの削減に伴う焼却量の減少により、焼却炉の負担も軽減され、良好な状態で維持管理することができております。

また、ごみの減量化と啓発については、生活環境課等の関係課と連携しながら、ホームページ、チラシ等により市民への呼びかけを行いごみの削減に取り組みました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年12月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位：円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
161,011,000	108,810,421	94,260,196	14,550,225	58.5	86.6

## (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,580,991,000	574,425,170	1,006,565,830	36.3

## 4 要望事項等

処理されるゴミについては、人体に影響を及ぼす可能性があるものが、混入されてしまう場合があります。市民の方々に対し、関係部署と連携して、適正なゴミの出し方を繰り返しお知らせしていくことに努めるよう要望します。

## ◇ 保 健 福 祉 部

### ◎ 福 祉 企 画 課

1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
課 長	1		1	
福祉企画係	4	4	8	富士市から派遣1
指 導 係	6	1	7	産後休暇中1 産前休暇中1
部 付	(1)		(1)	組合専従休職1
課 付	(1)		(1)	富士市へ派遣1
計	12	5	17	

2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

(1) 要望内容

自動体外式除細動器（AED）については、計画的に配備されてきたことから、大部分の公共施設への設置が済んでおり、また、市主催の行事においては機器の貸出も行われています。大規模な災害が発生した場合等には、不足する場合も想定されるため、民間の事業者が独自で設置しているものへの支援を検討するなど、有事の際に備えられたい。

(2) 処理済の事項

市民向けに公開されている「富士宮市わが街ガイド 宮まっぷ」では、公共施設や区民館などの市のAED配備場所を地図上で確認することができます。

また、日本救急医療財団が公開している「全国AEDマップ」では、市が配備するAEDだけでなく、民間事業者が配備するAEDも掲載されており、市内及び全国のAED配備場所を誰でも確認することができます。

有事の際に円滑な救命行動を行うためには、日頃から身近なAEDの配備場所を確認しておくことが重要であるため、今後もこれらのウェブサイトの周知を図ってまいります。

(3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

(1) 一般会計

① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
334,623,000	21,572,221	21,484,681	87,540	6.4	99.6

## ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1, 134, 216, 000	631, 978, 981	502, 237, 019	55. 7

## 4 総合福祉会館利用状況

(単位:人・日)

区 分	利用人員 A	開館日数 B	1日当たり利用人員 A/B
令和7年10月31日現在	57, 925	175	331
令和6年10月31日現在	58, 603	174	337
比較増減	△ 678	1	△ 6

## 5 救急医療センターの受診者状況 (令和7年10月31日現在)

(単位:日・人)

診療科目		診療日数	受診者数	1日平均受診者数
医 科	内 科	214	2, 564	12. 0
	小 児 科		1, 078	5. 0
	外 科		2, 686	12. 6
	小 計		6, 328	29. 6
歯 科		39	92	2. 4
合 計			6, 420	

## 6 要望事項等

第5期富士宮市地域福祉推進計画の策定においては、アンケート調査により得た市民の意見を参考に、高齢・障がい・生活困窮といった各個別支援から課題を捉えて計画の中に反映させ、市としての福祉施策の方向性を定めていくことを要望します。

## ◎ 高齢介護支援課

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
介護保険係	7	5	12	育児休業中1
地域包括ケア推進係	5	8	13	
認定審査係	6	17	23	人件費が障がい療育支援課扱い1
計	19	30	49	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

令和6年度から重層的支援体制整備事業を開始したことにより、関係部署や地域、外部団体等が連携しあって、地域全体で高齢者を支える支援を行っています。今後、益々増加する高齢者に対し、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、関係者が一体となって連携し合い、支援の充実を図っていくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

ひとり暮らしや夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療や介護サービスの提供のみならず、多様な日常生活の支援が求められています。

地域住民に身近な存在である市が中心となって、NPO法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、自治会、介護保険事業者、シルバー人材センター、シニアクラブ、商工会、民生委員等の地域の多様な主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加を一体的に図っています。

今後も、関係機関と情報を共有し、連携して課題の解決に取り組めます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
227,194,000	212,749,402	60,968,866	151,780,536	26.8	28.7

## ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,190,287,000	749,229,877	1,441,057,123	34.2

## (2) 介護保険事業特別会計

## ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
12,466,429,000	12,018,591,793	6,219,758,863	5,798,832,930	49.9	51.8

## ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,459,906,000	5,967,982,970	6,491,923,030	47.9

## 4 要介護認定状況 (令和7年10月31日現在)

(単位:件)

申請件数	認定審査件数
2,919	2,915

## 5 要支援・要介護認定審査の状況 (令和7年10月31日現在)

(単位:件・%)

介護度別判定	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	再調査	計
件数	9	257	368	694	491	412	400	284	0	2,915
(前年同期)	(3)	(211)	(308)	(723)	(429)	(332)	(351)	(223)	(0)	(2,580)
構成比	0.3	8.8	12.6	23.9	16.9	14.1	13.7	9.7	0.0	100.0
(前年同期)	(0.1)	(8.2)	(11.9)	(28.1)	(16.6)	(12.9)	(13.6)	(8.6)	(0.0)	(100.0)

## 6 要望事項等

保健福祉部内の複数の部署にまたがる相談業務を一括管理している福祉相談システムを活用し、関係課との情報共有が図られています。複数の案件を抱える相談者に、ワンストップでスムーズな窓口対応ができることは、市民サービスの向上に繋がることから、引き続き重層的支援体制で相談者の支援に臨みたい。

## ◎ 障がい療育支援課

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
障がい支援係	8	8	16	
療育支援係	6	6	12	育児休業中1
計	15	14	29	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

従来、高齢、障がい、生活困窮、こども等の分野で縦割りに扱われていた相談を、ワンストップで受け、全ての相談を断らない重層的支援体制整備事業が令和6年度から開始されています。改善や解決に繋がりにくい困難な相談に対し、関係者が一丸となって連携し、支援の充実を図っていくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

重層的支援体制整備事業の包括相談事業の浸透により、窓口で受けた相談内容が他課に関連する内容であっても、担当する課に相談内容が確実に繋がるよう、最後まで内容を聞き取り、市民の困りごとが解決するよう心がけています。また、一度の相談では解決しない事案については、支援会議を実施するなど各課と連携し、相談者の支援を行っています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,322,828,000	943,894,299	938,632,236	5,262,063	28.2	99.4

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
4,769,965,000	2,937,277,332	1,832,687,668	61.6

#### 4 要望事項等

障がいを持つ方との面談に際しては、積極的に障がいに関する情報を訴えないことも想定される中で、いかに的確な情報収集を行うかが重要であると思われます。また、ケースによっては重層的支援体制により、課題解決に繋げられることもあるため、重層的支援体制という仕組みについてわかりやすい周知にも努められたい。

#### 5 あすなる園

##### (1) 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位：人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
園 長	1		1	
保 育 士	6	6	12	
調 理 師	1	1	2	
計	8	7	15	

※派遣看護師1人

##### (2) 入園児の状況(令和7年11月1日現在)

(単位：人)

年 齢	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
人 数	5	8	7	20

##### (3) 要望事項等

常に事故が起きないように気配り、目配りを行っていることが、災害件数の結果報告に表れています。園児の行動を予測することは難しいと思われませんが、保護者等の協力も得る中で情報共有を図り、引き続き園児の安全確保に努められたい。

\* 定期監査ではあすなる園において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

## ◎福祉総合相談課

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
福祉相談支援係	5	4	9	
保護係	11	2	13	
計	17	6	23	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

令和6年度から重層的支援体制の整備事業を開始したことにより、関係部署や地域、外部団体等が連携しあって、地域全体で相談者を支える支援を行っています。今後も困難な問題を抱える相談者や生活困窮者などに対し、関係者が密に連携し合い、取りこぼしのない支援を行っていただけるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

今年度は、重層的支援体制整備事業における重層的支援会議を10ケースに対し14回、支援会議を1回開催し、多機関が協働することで課題解決に向けた支援を実施しています。今後も、重層的支援体制整備事業のみならず、様々な事業を活用し、関係者が密に連携し合い、取りこぼしのない支援を行います。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
1,151,006,000	919,569,536	732,994,815	186,574,721	63.7	79.7

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,850,003,000	950,496,394	899,506,606	51.4

### 4 長生園入園者の状況(令和7年10月31日現在)

男	女	合計	平均年齢		最高齢者		最年少者	
23人	24人	47人	男	79歳0月	男	93歳	男	70歳
			女	82歳7月	女	100歳	女	70歳

## 5 生活保護の実施状況

(単位：世帯・人・円)

区 分	延世帯数	延人員	支給総額	1世帯月平均 支給額	1人月平均 支給額
令和7年10月31日現在	3,900	4,732	702,464,279	180,119	148,449
令和6年10月31日現在	3,977	4,859	720,664,023	181,207	148,315
比 較 増 減	△ 77	△ 127	△ 18,199,744	△ 1,088	134

## 6 要望事項等

各部署で受付けた課題が複合的であると判断された場合には、重層的支援体制により、それぞれの部署の担当者が協議し合い、継続的な支援を行っています。初期の段階における課題の捉え方が重要となることから、面談の際には、プライバシー保護の観点に配慮しつつ、的確な情報収集に努められたい。

## ◎ 子ども未来課

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
こども家庭統括 監兼保健福祉部 参 事	1		1	
課 長	1		1	
子育て支援係	9	15	24	
家庭児童相談係	5	3	8	
計	16	18	34	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

相談業務において、関係機関や地域全体との協働により、相談者を確実に支援に繋げる重層的支援体制整備事業を令和6年度から開始しています。断らない相談支援として、相談者が馴染みやすい雰囲気の中で相談を受けることができるよう、相談体制の充実を図っていくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

相談者が馴染みやすい雰囲気の中で相談を受けることができる環境は、相談者にとっても相談業務をする上でも効果が大いと考えます。こどもや地域で活動する主任児童委員等から自然に相談につながることで相談者の負担が軽減するため、地域の関係機関との連携から相談につながる体制をより一層整えていきたいと考えています。また、こどもや親の抱える悩み事には学校生活、学習問題、介護、経済問題、健康問題等多岐にわたるため、関係部署との連携をより一層図り、相談体制を整えて行きたいと考えます。

今年度は相談体制の基盤強化を図るため、スクールソーシャルワーカーの定例会への出席や、園からの相談をどのようにつなぐのかについて、昨年公立保育園に加え、今年度はこども園へ職員が出向き、確認する機会を設けました。

また、こども食堂や学習支援など民間の居場所を提供する団体等とも顔の見える関係を築けるよう交流会も企画しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

(1) 歳入 (単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
3,065,754,000	1,211,915,817	1,208,602,145	3,313,672	39.4	99.7

(2) 歳出 (単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
4,524,398,000	2,751,446,490	1,772,951,510	60.8

4 ファミリー・サポート・センター事業登録会員数(令和7年10月31日現在) (単位:人)

委託会員	受託会員	委託・受託会員	計
396	191	28	615

5 要保護児童の施設収容状況 (単位:人)

区 分	児童養護 施設	児童自立 支援施設	乳児院	里親委託	児童心理 治療施設	知的障害児 施設	計
令和7年11月1日現在	11	1	1	6	2	7	28
令和6年11月1日現在	11	2	1	9	2	7	32
比較増減	0	△ 1	0	△ 3	0	0	△ 4

6 家庭児童相談の状況 (単位:件)

区 分	性格 生活 習慣等	知能 言語	学校 生活等	非行	家族 関係	心身 障害	環境 福祉	その他	計
令和7年11月1日現在	40	30	767	56	1,034	274	639	243	3,083
令和6年11月1日現在	81	39	1,253	64	1,283	275	795	455	4,245
比較増減	△ 41	△ 9	△ 486	△ 8	△ 249	△ 1	△ 156	△ 212	△ 1,162

7 要望事項等

富士根交流センターの隣接地に建設された21世紀児童クラブについては、他の施設と比較しても、広い駐車場や公園が備わっているなど、多くの利点があります。その中で、小学校から児童クラブまでの道路に関して、安全確保が課題とされることから、各関係機関や地域の方々の協力を得て、こども達が安心して通える児童クラブとなるよう対策を講じていくことを要望します。

## ◎ 保育支援課

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
保 育 係	7	6	13	
計	8	6	14	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

保育士確保、就業継続支援を目的に、学生や一般の方々を対象とした、保育の仕事や園での様子を披露してその魅力を発信する「こどもたちと笑顔をつなぐ、保育のおしごとフェア」を初めて開催しています。一定の参加者と事業の成果が見受けられたことから、今後も保育士を目指す方々に保育の魅力が発信できるよう、事業を継続実施していくことを要望します。

また、各保育園で管理している金銭及び個人情報に係る書類の保管場所について、現状を把握し、安全的確な取り扱いとなるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

保育のおしごとフェアについては一定の成果が見受けられたことから、事業を継続実施いたします。令和9年度採用に向けた取り組みとして今年度は令和8年度1月24日に開催を予定しております。今後も保育士を目指す方々に保育の魅力が発信できるよう事業を実施してまいります。

各保育園における金銭及び個人情報に係る書類の管理状況について現状把握を実施しました。その結果に基づき、情報管理の重要性を改めて周知徹底し、より安全確実な取り扱いとなるよう指導を行いました。また、金銭及び個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットで厳重に保管し、管理責任者を明確にした上で定期的に運用状況を確認します。今後も各園を定期的に巡回・確認し、適切な保管を徹底します。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,138,062,000	873,035,088	87,183,929	785,851,159	4.1	10.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
4,787,486,000	2,306,078,846	2,481,407,154	48.2

### 4 要望事項等

保育士の負担軽減と事務の効率化を図るために、保育支援システムを導入して、令和8年度から本格的に稼働していきます。誤操作等による情報漏洩等の事故に繋がらないよう、慎重に取り扱うとともに、有効に活用して職員の負担の減少と業務改善に努められたい。

5 保育園

(1) 定員、実人数及び職員の配置状況（令和7年12月1日現在）

(単位:人)

保育園名	定員	実人数	職員数							備考
			園長	保育士		看護師	調理師		計	
				正規	会計年度任用職員	会計年度任用職員	正規	会計年度任用職員		
富士根	120	117	1	13	18	0	1	4	37	育休中2
大岩明倫	90	89	1	11	10	0	1	3	26	育休中2
大富士	90	69	1	11	9	0	1	3	25	育休中2
北山	90	46	1	9	10	0	1	3	24	育休中3
上井出	55	23	1	6	2	0	0	2	11	育休中2
白糸	35	12	1	3	2	0	0	2	8	育休中2
山宮	90	64	1	9	7	0	0	4	21	育休中2
大宮	150	121	1	13	20	3	1	4	42	産休・育休・病休・休職中4
井之頭	35	11	1	4	1	0	0	2	8	
西	120	71	1	8	8	0	0	4	21	育休中2
明星	90	67	1	8	6	0	1	3	19	育休・特休中2
粟倉	90	72	1	8	6	0	1	3	19	育休中1
柚野	30	14	1	5	0	0	0	2	8	育休中1
計	1,085	776	13	108	99	3	7	39	269	

(2) 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

① 要望内容

各保育園では、園児が野菜等の栽培を通して、食に関心を持ち、食べ物の美味しさを知ることができるような食育を進めています。園児が自ら実体験することは、食の喜びや関心に良い影響をもたらすことから、今後もこのような食育を継続していくことを要望します。

## ② 処理済の事項

園児の食への関心を高めるため、引き続き各園において野菜の栽培活動を計画に組み込み、継続的に実施しています。園庭やプランターを活用した栽培スペースで、園児が日常的に成長過程を観察できるよう環境を整備しています。また、園だよりや掲示物を通じて栽培や調理の様子を積極的に発信し、家庭での食育への連携も図っています。今後もこの取り組みを継続し、園児が食べ物への感謝と感心を持ち続けられるよう努めてまいります。

## ③ 未処理事項の処理予定

なし

## (3) 要望事項等

各保育園では、ヒヤリハットの情報を全職員で共有するなど、常に災害や事故が発生しないよう注意を払っています。保護者や地域の方々の協力もいただきながら、園の周囲までも目配りをし、引き続き園児の安全確保に努められたい。

※定期監査では2園（大岩明倫・栗倉）において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

## ◎ 健康増進課

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
保健総務係	2		2	
母子保健係	17	20	37	産前休暇中3 育児休業中2
健康増進係	17	7	24	育児休業中2
計	37	27	64	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

産後ケア業務については、産後や子育てに関する不安を抱える母子を対象として、看護師等の専門職を配置しての事業者による委託事業が展開されています。産後ケアに適した環境を整え、また利用者負担の減免により、利用しやすい体制を整備したことから、徐々に利用者が拡大しているため、今後も事業者との情報交換を密に行い、利用者の要望に応えられるような事業を継続していくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

産後ケア事業については、昨年度と同程度の利用実績となっています。利用者からは「安心して休むことができた」「育児について不安なことが確認できてよかった」「もっと利用したい」などのお声をいただいております。また、本年9月より新たに4事業所と契約を結び、より産後ケアを利用しやすい環境となっています。

産後ケア事業が今後も継続して有効に実施できるよう、事業者と情報交換をしながら、より利用者のニーズに合った事業となるよう取り組んでいきます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

#### (1) 一般会計

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
263,639,000	50,555,062	49,889,956	665,106	18.9	98.7

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,528,297,000	550,582,774	977,714,226	36.0

## (2) 国民健康保険事業特別会計

## ① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
11,724,000	6,506,801	5,217,199	55.5

## (3) 介護保険事業特別会計

## ① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
6,523,000	1,441,811	5,081,189	22.1

## 4 母子保健法による妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の実施状況 (令和7年10月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
妊婦健康診査(初回健診の人数)	267	248	92.9
産婦健康診査(1人2回実施)	528	471	89.2
新生児聴覚検査	267	232	86.9
1か月児健康診査	301	226	75.1
4か月児健康診査	253	242	95.7
10か月児健康診査	291	278	95.5
1歳6か月児健康診査	308	299	97.1
2歳児歯科健康診査	319	302	94.7
3歳児健康診査	338	341	100.9

## 5 健康増進法による健康診査の実施状況 (令和7年11月1日現在)

(単位:人・%)

種 別	対象人員 A	実施人員 B	実施率 B/A
胃がん検診	82,665	3,383	4.1
大腸がん検診	82,665	6,086	7.4
前立腺がん検診	31,038	2,494	8.0
胸部検診 (肺がん・結核)	82,665	11,768	14.2
乳がん検診	42,967	1,605	3.7
子宮頸がん検診	54,065	1,625	3.0
肝炎ウイルス検診	11,043	474	4.3
骨粗しょう症検診	2,959	160	5.4
歯周疾患検診	3,192	81	2.5
健康診査(被保護者)	551	11	2.0
計	393,810	27,687	7.0

## 6 要望事項等

少子化が進む中で、出産、子育てに対するサポートとして、産後ケア事業の充実が図られています。昨今の人件費高騰や人手不足により、この事業に携わる事業者の人員確保が課題であることから、事業者との意思疎通に努め、引き続き産後ケア事業の推進を図られたい。

## ◇ 都 市 整 備 部

### ◎ 管 理 課

#### 1 職員の配置状況(令和8年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	水道部参事を兼務
技 監	1		1	
課 長	1		1	
管 理 係	5	1	6	育児休業中1
公共用地係	4	2	6	
国土調査係	3	3	6	
計	15	6	21	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

地籍調査について、民地と官地の入りくりや民々同士の問題もある中、滞りなく進められています。国土調査による土地の境界確定については、将来の境界紛争が未然に防止されることや、土地取引や相続が円満にできるなどの必要性を伝えるとともに、土地所有者の双方の意見に耳を傾け、現状の資料と法務局の地籍図を念査することで所有者の理解を得て事業の進展を図るよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

地籍調査は、災害復旧の迅速化に加え、土地境界を巡るトラブルの未然防止や土地取引の円滑化など、さまざまなメリットがあります。

このような地籍調査の重要性については、地元説明会や現地立会時に説明を行っています。

今後も、隣接する土地所有者同士の認識を確認するとともに、根拠資料を提示し所有者の理解を得られるように丁寧な対応を進めてまいります。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和8年1月7日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
73,174,000	63,320,504	62,850,774	469,730	85.9	99.3

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
201,957,000	131,011,350	70,945,650	64.9

4 道路及び河川の占用料収入状況(令和8年1月7日現在)

(単位:円・件・%)

区 分	調 定 額		収 入 済 額		収 入 率	
	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数
道路占用	54,291,064	4,049	54,133,034	4,010	99.7	99.0
河川占用	8,902,600	1,328	8,590,900	1,273	96.5	95.9
計	63,193,664	5,377	62,723,934	5,283	99.3	98.3

5 地籍調査の状況(令和8年1月7日現在)

(単位:km<sup>2</sup>・%)

調査対象区域面積 A	調査済面積 B	実施率 B/A	調査実施地区
317.93	76.56	24.08	麓・根原・杉田・人穴・猪之頭・ 上井出・外神・青木・宮原・淀師・ 淀平町・万野原新田・粟倉・村山・ 山宮・大岩・小泉の各一部・ 長貫・大久保・西山・上稲子・羽鮒

6 要望事項等

公共基準点の座標値を情報公開し、地籍調査事業の適正な維持・管理に努められています。

今後も地籍調査事業を進めていく上では、土地所有者である市民の方々に、公共基準点というものについて、自分の財産を確定するための大事な手続きであるということを理解していただくことが求められるため、土地の境界確定における相談等の際には、引き続き親切丁寧な対応に努められたい。

## ◎ 道路課

### 1 職員の配置状況(令和8年1月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
課長補佐	1		1	
建設係	6	2	8	
維持係	6		6	
調査修繕係	3	2	5	
計	17	4	21	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

被災地へ派遣された本市や県の職員の実体験から、有事の際には、一定の安全確保の上、スピード感を優先した判断と対応が求められることを学びました。災害時には、住民が孤立する可能性のある地域も想定されていることから、状況確認の際には、ドローンなどを活用して、あらゆる情報を瞬時に活用できるような体制づくりに取り組むよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

スピード感を優先した判断と対応の重要性など、被災地へ派遣された県や市の職員の体験談の中から学び得たことを、緊急時などの対応に役立てていきたいと考えます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

災害時の住民孤立や被災状況の確認においてドローンは、道路の寸断や建物の被害状況など上空からの迅速な情報収集と食料や医薬品などの緊急物資輸送で活躍することに加え、二次災害リスクを低減しつつ、初動対応の迅速化と救助活動の支援に力を発揮することが想定されます。このことから、ドローンなどを活用して、あらゆる情報を瞬時に活用できるような体制づくりについて、関係各課を含めた中で検討を進めていきたいと考えます。

### 3 予算の執行状況(令和8年1月7日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
291,156,000	9,751,000	9,751,000	0	3.3	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,760,911,000	805,844,938	955,066,062	45.8

#### 4 道路パトロールの状況

	区 分	令和7年12月31日 現在	令和6年12月31日 現在	前年度実績
道路補修作業	路面舗装穴埋 (箇所)	1,506	2,090	2,545
	路面路肩段差補修 (箇所)	3,751	2,192	3,863
	路面陥没補修 (箇所)	37	4	15
	アスカーブ設置 (m)	58	7	39
側溝清掃・修理	側溝または暗渠清掃・土砂片付け (箇所)	30	35	52
	グレーチング修理 (枚)	65	116	170
	側溝蓋騒音防止・架け替え (枚)	242	35	57
パトロール	道路確認等走行距離 (k m)	19,500	18,974	24,389
	要望等箇所調査 (箇所)	31	0	0
その他	袋詰めアスファルト合材使用数 (袋)	2,898	2,455	3,400
	土嚢作成 (袋)	0	0	0
	土嚢運搬・設置 (袋)	165	155	175
	倒木・支障木等片付け (本)	602	0	14
	凍結注意看板設置・撤去 (枚)	1	0	0
	カーブミラー等修正 (枚)	42	32	42
	草刈り・街路樹剪定 (路線)	52	63	63
	デリネーター等設置・撤去 (本)	27	9	28

#### 5 要望事項等

市道の橋梁については、平成30年度に策定された「富士宮市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、毎年度、点検及び修繕を継続して行っていることから、適正な長寿命化が図られています。

今後、予知される災害時に、橋梁が避難経路や物資輸送路として重要な役割を果たすという観点からも、引き続き、安全で災害に強い橋梁の保全に努められたい。

## ◎ 河川課

### 1 職員の配置状況(令和8年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	下水道課参事を併任
計 画 係	3		3	環境企画課環境エネルギー室 主任主査を兼務1
工 事 係	6	1	7	下水道課 主幹を併任1 主査を併任1
計	10	1	11	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

水門について、営農者の高齢化が進み、水門の維持管理に対する認識に変化がみられる中、地元との意見交換を密に行い、操作不能水門の存続等についての協議が進められています。

平常時には活用されていない水門も、大雨の時には不可欠となることから、水門の必要性については、過去の事例を含めて地元の方に伝え、維持管理に理解いただけるよう努められたい。

#### (2) 処理済の事項

水門調査につきましては、令和3年度から5か年計画で実施しており、本年度をもって一通りの調査が完了する予定となっております。本調査の重要性については、日々の業務を通じて強く認識しているところであり、今後も引き続き実施してまいりたいと考えております。

ご指摘のとおり、営農者等の高齢化に伴い、水門の維持管理に対する認識に変化が見られ、操作不能となっている水門も散見される状況にあります。また、高齢化により操作が困難となっていることから、市への連絡がなされていない場合もあります。

本年度までの調査結果を踏まえ、市においても水門の重要性や必要性について改めて確認を行うとともに、河川等の溢水のおそれがある水門については、特にその重要性を営農者に再認識していただくよう努めてまいります。あわせて、操作不能水門につきましては、地元区長や水利監視員等への周知および聞き取りを行い、存続の是非について、引き続き検討を進めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況（令和8年1月7日現在）

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
20,972,000	15,995,528	15,995,528	0	76.3	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
631,782,000	203,877,501	427,904,499	32.3

### 4 要望事項等

優良農地の確保や農業生産の安定化を図るために、県が事業主体となって、農村地域防災減災事業として、主にため池改修工事を実施し、環境整備が進められています。ため池については、ため池自体の改修を進める中で、周辺整備にも視野を向けながら引き続き整備に努めることを要望いたします。

## ◎ 都市計画課

### 1 職員の配置状況(令和8年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
計 画 係	4	2	6	育児休業中1
土地対策係	7		7	
景 観 係	3	1	4	
計	15	3	18	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

防災都市づくり計画策定業務について、市全域だけではなく地域ごとにわかりやすく洗い出したものを作成されています。今後は、この計画に基づいて作成された防災マップについて、子どもたちを通して活用を広げることも視野に入れ、より多くの市民に周知して、防災に対する理解と意識向上を図っていくことを検討するよう要望します。

また、事前都市復興計画を策定する際には、実際に被災地へ赴いた職員が得た経験や現地の市民の声などを参考に、計画に反映させることに努められたい。

#### (2) 処理済の事項

防災都市づくり計画を各出張所や交流センターに配布するとともに、住民配布用に概略版及びその地域の防災マップを合わせて配布しました。

また、ホームページへの掲載、まちづくり月間での展示や、概要版の配布など周知活動を行いました。

今後は、小中学校をはじめ、多くの方に出前講座等により、防災に対する理解と意識向上を図っていきたいと考えております。

事前都市復興計画を策定する際には、職員の実体験や市民の声などを参考に策定していきたいと考えております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和8年1月7日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
8,790,000	6,587,550	6,390,960	196,590	72.7	97.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
139,742,000	90,376,417	49,365,583	64.7

4 都市計画法等による許可申請の状況(令和8年1月7日現在)

(単位：件)

区 分	受付件数	備 考
開発行為許可申請	19	うち変更許可 5件
建築行為許可申請	47	
60 条 申 請	26	うち一括交付 3件
計	92	

5 要望事項等

令和8年度からの施行を目指し、朝霧高原地区を新たに重点地区に指定して、景観計画の改定作業が進められています。市にとって貴重な観光資源である朝霧高原については、その保全本はもとより、酪農家の多い地元の方々のご意見や観光客への対応といった様々な課題を考慮して、景観が保たれていくことに努められたい。

## ◎ 都市整備課

### 1 職員の配置状況(令和8年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
市街地整備係	4		4	
街路整備係	5		5	
計	10	0	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

都市計画道路田中青木線の整備について、企業の湧水地や排水施設の移設といった課題がある中、用地取得事務が進められています。引き続き、湧水地を利活用している企業への影響も考慮するとともに、要望内容には丁寧に耳を傾け、道路整備事業の進捗に努められたい。

#### (2) 処理済の事項

令和7年度の湧水地内における工事は、井戸が密集する箇所での井戸移設工事を実施しております。工事に伴い工事内容及びスケジュール、緊急時対応等の説明を密に実施し、企業からの水質に関わる要望に対し、水質検査を実施しながら工事を進めております。今後も現場状況の情報共有を図り、理解を得ながら着実に事業を進捗してまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和8年1月7日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
184,648,000	1,141,813	1,141,345	468	0.6	100.0

## (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
545,143,000	162,779,417	382,363,583	29.9

## 4 要望事項等

富士宮駅前広場等施設については、快適で機能的な市街地整備を図ることを目的に、整備事業が進められています。市民や来訪者にとって、景観やユニバーサルデザインに配慮した施設となるよう細やかな対応に努められたい。

## ◎公共建築課

### 1 職員の配置状況(令和8年1月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
建築企画係	3	1	4	
建築工事係	7		7	
設備工事係	5		5	育児休業中1
計	16	1	17	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

公共施設については、「公共施設等総合管理計画」に基づいて、主に事前協議制度を活用し、施設所管課との協議を行い、適正化が進められています。今後は、特に学校施設や出先機関等が課題となることから、他の事例を参考に、複合化による施設の集合化、利便性の向上、活用方法について研究に努められたい。

#### (2) 処理済の事項

公共施設等総合管理計画において定めた総延床面積30%削減に向けて、他自治体における施設の集約化や多機能化等の先進的な取り組みについて研究を深めるため、今年度は、下田市における集約化施設の視察を実施しました。

また、職員の意識向上を図るため、下田市職員を講師に招き、公共施設再編を題材とした職員向け研修会を実施しました。

今後も、公共施設に関わる課題を踏まえ、公共施設等総合管理計画・公共施設再編計画に基づき、施設再編を推進するため、先進的な取り組みについて研究に努めます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和8年1月7日現在)

#### (1) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
164,216,000	108,369,236	55,846,764	66.0

### 4 要望事項等

公共施設に関して、基本方針に基づき、施設管理と施設総量の両面から適正化に取り組まれています。一番の課題である人口減少問題について、情報収集と今後の動向に注視し、施設を抱える庁内各関係部署と念入りな協議を行い、引き続き公共施設の適正化を進めていくことを要望します。

## ◎ 建築住宅課

### 1 職員の配置状況(令和8年1月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
住宅管理係	4	3	7	
建築指導係	5		5	
審 査 係	4		4	
計	14	3	17	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

市営万野住宅E棟が完成したことにより、市営万野住宅建替事業が完了しました。今後の市営住宅のあり方として、住生活基本計画、市営住宅長寿命化計画の策定が進められている中で、災害時の活用や外国人の入居についても視野に入れ、適切な利用率を確保することを要望します。

また、長寿命化の観点から、日頃の点検作業を念入りに実施し、好ましい住環境の整備に努めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

今後の市営住宅のあり方として、適切な利用率を確保することを念頭に、今年度「住生活基本計画」、来年度「市営住宅長寿命化計画」を改定し、社会情勢の変化に応じた有効活用の方向性を明確にまいります。

また、建物の長寿命化を推進するため、定期的な点検作業を強化します。点検により発見された不具合については、優先順位を整理した上で計画的な修繕を実施し、入居者の皆様にとって安心・安全で好ましい住環境の整備に努めてまいります。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和8年1月7日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納欠損額 D	収入未済額 B-C-D	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
291,033,000	150,300,745	119,345,794	0	30,954,951	41.0	79.4

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
379,577,000	176,246,782	203,330,218	46.4

4 市営住宅の状況

(単位:戸・%)

区 分	管理戸数 A	入居戸数 B	入居率 B/A
令和7年12月31日現在	782	542	69.3
令和6年12月31日現在	750	521	69.5
比較増減	32	21	—

5 市全体の確認件数(令和8年1月7日現在)

(単位:件)

住 宅 共同住宅	併用住宅	工 場	そ の 他 計 画 通 知	工 作 物 昇 降 機	計
349	3	5	29	11	397

(注) 指定確認検査機関で確認した件数を含む。

6 市で処理した確認・検査件数(令和8年1月7日現在)

(単位:件・円)

確認申請	計 画 変 更	中 間 検 査	完 了 検 査	計	手数料
11	2	4	12	29	808,000

7 建築基準法等に規定する許可、認定、指定及び報告の件数（令和8年1月7日現在）（単位：件）

許可	認定、承認等	指定（法第42条関係）			報告（法第12条関係）		
		第1項第4号	第1項第5号	第2項	第1項	第3項	第5項
2 ( 10 )	12 ( 6 )	0 ( 0 )	6 ( 3 )	0 ( 0 )	46 ( 80 )	447 ( 189 )	2 ( 1 )

（注） 下欄（ ）は、前年度同期

8 長期優良住宅建築等計画認定件数（令和8年1月7日現在）（単位：件・円）

件数	手数料
186 ( 189 )	2,784,000 ( 2,843,000 )

（注） 下欄（ ）は、前年度同期

9 低炭素建築物新築等計画認定件数（令和8年1月7日現在）（単位：件・円）

件数	手数料
1 ( 2 )	5,000 ( 10,000 )

（注） 下欄（ ）は、前年度同期

10 要望事項等

TOUKAI-0事業において、無料の耐震診断の申し込みが予定数を上回るなど、市民の方々の、災害に備える姿勢がうかがわれます。今後訪れる可能性が高いと言われる南海トラフ地震やその他の災害に備え、防災訓練等の場を活用して、耐震診断などの対応策について情報提供を行うなど、市民の意識の醸成に努められたい。

## ◇ 水 道 部

### ◎ 水道業務課・水道工務課

#### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

##### (1) 水道業務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
参 事	1		1	都市整備部長が併任
課 長	1		1	
課長補佐	1		1	
庶務係	4		4	
営業係	2		2	
計	10	0	10	

##### (2) 水道工務課

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
工 務 係	7		7	
管 理 係	5	1	6	
給 水 係	7		7	
計	20	1	21	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

水道料金の徴収に関する事務について、業務を委託している業者と連携を密にしながら適正に処理が行われています。今後も引き続き、あらゆる方法での料金収納について、委託業者からの報告事項を念入りに確認し、的確な水道料金徴収が行われるよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

水道料金等の徴収業務を委託している業者とは同じ執務室で業務を行っており、定例打合せに限定せず、随時、問題の共有と解決に努めております。

多様化する収納方法への対応を図りつつ、引き続き連携を密にし、収納率の向上に努めてまいります。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況

#### (1) 一般会計(令和7年11月6日現在)

##### ① 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
12,838,000	4,986,000	7,852,000	38.8

#### (2) 水道事業会計(令和7年9月30日現在)

##### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,018,033,000	930,487,862	719,968,139	210,519,723	35.7	77.4

##### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,956,948,000	579,257,013	1,377,690,987	29.6

##### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
297,655,000	23,818,300	23,015,300	803,000	7.7	96.6

##### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,629,958,000	793,837,562	836,120,438	48.7

#### 4 業務の状況

区 分	単位	令和7年9月30日現在	令和6年9月30日現在	比較増減
行政区域内人口	A 人	126,040	127,155	△ 1,115
計画給水人口	B 人	129,100	129,100	0
給水人口	C 人	120,027	121,132	△ 1,105
行政区域内普及率	C/A %	95.2	95.3	△ 0.1 ポイント
計画給水普及率	C/B %	93.0	93.8	△ 0.8 ポイント
給水戸数	戸	57,546	56,995	551
総配水量(183日分)	D m <sup>3</sup>	9,617,627	9,568,172	49,455
1日平均配水量	m <sup>3</sup>	52,555	52,285	270
給水量(183日分)	E m <sup>3</sup>	7,998,028	8,009,733	△ 11,705
1日平均給水量	m <sup>3</sup>	43,705	43,769	△ 64
有収率	E/D %	83.2	83.7	△ 0.5 ポイント

#### 5 要望事項等

水道事業の工事や修繕を行う際には、適正に行われることはもとより、万が一不備が発生する場合には、水道利用者である市民の不利益につながることから、依頼する事業者に対しては、念入りな確認を行うとともに、適正な工事等となるよう指導していくことを要望します。

## ◎ 下水道課

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
所 長	1		1	生活排水処理センター所長
業 務 係	5	1	6	育児休業中1
排 水 設 備 係	4	2	6	
建 設 係	5		5	
生 活 排 水 処 理 セ ン タ ー	3	2	5	育児休業中2
課 付	4		4	都市整備部長が併任 河川課 課長が併任 工事係主幹が併任1 工事係主査が併任1
計	23	5	28	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

人口減少や高齢化とともに、1人世帯が増加する傾向にある中で、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換や下水道への接続に対する働きかけに努められています。費用負担の面が特に課題となっておりますが、補助金や融資制度等の説明を念入りに行うなどして、環境面への配慮に対する理解を求めていくよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

広報、市のホームページ、出前講座、個別訪問、ラジオによる啓発、下水道工事説明会を通し、補助金や融資斡旋制度について説明し、公衆衛生や環境衛生について、理解を得られるよう努めました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

今後も引き続き丁寧な説明を行い、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換や下水道供用開始区域内の下水道への接続に対し、理解を得られるよう図ってまいります。

### 3 予算の執行状況

#### (1) 一般会計(令和7年11月6日現在)

##### ① 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
8,732,000	469,000	469,000	0	5.4	100.0

##### ② 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
304,335,000	99,787,881	204,547,119	32.8

#### (2) 下水道事業会計(令和7年9月30日現在)

##### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
2,144,504,000	790,672,811	639,018,895	151,653,916	29.8	80.8

##### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,027,282,000	558,650,314	1,468,631,686	27.6

##### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
703,161,000	70,769,874	69,756,294	1,013,580	9.9	98.6

##### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,456,247,000	799,752,444	656,494,556	54.9

#### 4 業務の状況

区 分		単位	令和7年9月30日現在	令和6年11月30日現在	比 較 増 減
行政区域内人口		A 人	126,040	127,017	△ 977
処理区域内人口		B 人	69,211	69,299	△ 88
普及率		B/A %	54.91	54.56	0.35 ポイント
認可区域面積		C ha	1,816.80	1,816.80	0.00
供用開始区域面積		D ha	1,519.48	1,517.11	2.37
面整備率		D/C %	83.63	83.50	0.13 ポイント
供 用 開 始 区 域 内	戸 数	E 戸	33,345	32,906	439
	水洗化戸数	F 戸	28,680	28,263	417
	未水洗化戸数	E-F 戸	4,665	4,643	22
	うち法定期限到来戸数	戸	2,946	3,008	△ 62
	人 口	G(=B) 人	69,211	69,299	△ 88
	水洗化人口	H 人	61,510	61,697	△ 187
	水洗化率	H/G %	88.87	89.03	△ 0.16 ポイント
融資件数(累計)		I 件	1,033	1,033	0
利用率		I/F %	3.60	3.65	△ 0.05 ポイント

#### 5 要望事項等

下水処理事業の推進は、環境保全に不可欠なものであることから、粘り強く区域内の下水道への接続や、単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換について、市民の方々に理解を求めていくよう引き続き取り組まれない。

## ◇ 危機管理局

### 1 職員の配置状況(令和7年10月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
危機管理監	1		1	
危機管理局長	1		1	
危機管理担当	5		5	警防救急課 消防士長が併任2
計	7	0	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

災害時に不可欠な被災者への物資供給については、物資調達支援システムを取り入れ、日頃から操作をはじめとした、物資調達方法の確認が行われております。有事の際には、早急な対応を図る必要があることから、電源や通信の確保を課題と捉えて、その対応方法について、引き続き研究や情報収集に努められたい。

また、現在各避難所において、防災用品の種類が増加に伴い、計画的に防災倉庫の増設を進められておりますので、新たな避難所の選定を含め、市民や避難者が災害時に安心して避難することができるよう、引き続き避難所の整備に努めるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

物資供給については、関係部署を対象とした国の物資支援システムの操作研修を実施するなど、今後も定期的に取り組んでまいります。電源や通信の確保についても、他市町の状況について情報収集を行い、庁舎をはじめ、交流センターなどの災害拠点となる施設への整備をお願いしてまいります。

また、富士根交流センター完成時には、指定避難所の地区本部としての位置づけを行い、有効利用するとともに、国際基準であるスフィア基準を参考に、避難所の整備に努めております。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年10月3日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
129,311,000	23,664,000	1,000,000	22,664,000	0.8	4.2

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
218,124,000	53,610,146	164,513,854	24.6

## 4 自主防災会訓練（総合防災訓練）

（単位：地区・人）

年 度		令和7年度	令和6年度	比較増減
当日	実施地区	111	15	96
	参加人数	22,388	1,495	20,893
当日以外	実施地区	13	35	△ 22
	参加人数	2,438	7,171	△ 4,733
計	実施地区	124	50	74
	参加人数	24,826	8,666	16,160

令和6年度の訓練は、台風10号の接近に伴い、9月1日実施予定だった区は原則中止とした。令和7年度は8月31日を中心に、各区で熱中症に配慮しながらの訓練を実施した。

## 5 要望事項等

懸念される南海トラフ地震等の災害を想定し、全職員動員による総合防災訓練を行い、また、自主防災会における訓練と併せて、有事の際の備えの強化が図られています。昨今の災害は、激甚化の傾向にあるため、あらゆる通信手段を用いて、対応する職員間の迅速な情報共有が行われることを課題として認識し、連絡体制の充実強化に努められたい。

◇ 市 立 病 院

1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

区 分		職 員	会計年度任用職員	区 分		職 員	会計年度任用職員	
診 療 部	院 長	1		看 護 部	部 長	1		
	副 院 長	2			副 看 護 部 長	2		
	部 長	5			看 護 師 長	9		
	科 長	27			助 産 師	13	3	
	医 長	13			看 護 師	257	28	
	医 師	24			介 護 福 祉 士		1	
	小 計	72	0		用 務 員		52	
診 療 技 術 部	部 長	1		事 務 員		1		
	臨 床 検 査 科	科 長	1		小 計	282	85	
		血 液 検 査 係	7		医 療 安 全 管 理 室	室 長 ※2	(1)	
		一 般 検 体 検 査 係	4	1	看 護 師	1		
		病 理 検 査 係	4		室 員		1	
	生 理 検 査 係	6	1	小 計	1	1		
	中 央 放 射 線 科	科 長	1		地 域 医 療 連 携 室	室 長 ※2	(1)	
		X線撮影検査係	4		看 護 師 長	1		
		コンピューター 断層検査係	6		看 護 師	5	2	
		核治療検査係	5		社 会 福 祉 士	4		
		画像特殊検査係	5		室 員	1	2	
	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	科 長	1		小 計	11	4	
		呼吸リハビリテー ション係	9		診 療 情 報 管 理 室	室 長 ※2	(1)	
		運動器リハビリ テーション係	10	1	室 長 補 佐 ※3	(1)		
		神経リハビリテー ション係	12		室 員	1	6	
		地域リハビリテー ション係	3		小 計	1	6	
	栄 養 科	視 能 訓 練 係	3	1	感 染 対 策 室	室 長 ※4	(1)	
		科 長 ※1	(1)		看 護 師	1		
		栄 養 管 理 係	2		室 員		1	
	臨 床 工 学 科	給 食 委 託 係	2		小 計	1	1	
科 長		1		事 務 部	部 長	1		
血 液 浄 化 関 連 係		4			病 院 管 理 課	課 長	1	
中 央 機 器 管 理 係		4				病 院 経 営 室 室 長	1	
小 計	95	4	病 院 管 理 係			6	12	
薬 剂 部	部 長	1		用 度 施 設 係	6	4		
	薬 剂 科	科 長	1		病 院 経 営 室	2		
		薬 品 管 理 係	3	2	医 事 課	課 長	1	
		化 学 療 法 係	3			医 事 係	3	11
		調 剤 製 剤 係	4	3		情 報 シ ス テ ム 係	2	1
		病 棟 業 務 係	9	2	小 計	23	28	
	科 付 け	1	1	合 計	645	508		
小 計	22	8			137			
診療技術部	育児休業中4		※ 1 診療技術部部長が兼務					
薬剤部	育児休業中1		※ 2 診療部部長が兼務					
看護部	育児休業中29、病気休暇中2		※ 3 医事課長が兼務					
			※ 4 院長が兼務					

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

病院情報システムを更新するにあたり、国が推進しているDX化を図るために、コンサルからの意見を基に業務の見直しが進められています。予定された更新時期に、滞りなく新システムで業務が稼働できるよう、十分にコンサルを活用して検討を図りたい。

### (2) 処理済の事項

病院情報システムの更新を、院内業務の改善の好機と捉え、限られた予算の中で、国が推進している医療DXだけでなく、特に医療職の負担軽減を図るための院内のDXにも取り組むことを方針としています。

システム導入に係る物価や人件費の高騰が続く状況の中で、この取り組みを進めるためには、なるべく業務運用をシステムの標準仕様に合わせることや新機能の取捨選択等に関して綿密な検討により、詳細な要求仕様を作成する必要があることから、コンサルからの支援の強化を図るとともに、前回更新時以上の数のワーキンググループを各部署や多職種により組織し、検討を進め、費用対効果の高い事業を目指します。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

## 3 予算の執行状況(令和7年10月31日現在)

### (1) 病院事業会計

#### ① 収益的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
11,050,181,000	6,688,154,879	5,397,297,497	1,290,857,382	48.8	80.7

#### ② 収益的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
11,925,954,000	6,204,058,470	5,721,895,530	52.0

#### ③ 資本的収入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算収入率 C/A	対調定収入率 C/B
399,080,000	20,000	20,000	0	0.0	100.0

#### ④ 資本的支出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出負担行為済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
669,673,000	457,856,677	211,816,323	68.4

## 4 診療科別入院・外来患者数

(単位：人)

区 分	入 院			外 来		
	令和7年 10月31日現在	令和6年 10月31日現在	比較増減	令和7年 10月31日現在	令和6年 10月31日現在	比較増減
内 科	13,820	16,137	△ 2,317	17,389	17,774	△ 385
循環器内科	4,086	4,672	△ 586	5,161	5,412	△ 251
小 児 科	2,014	1,349	665	7,275	7,404	△ 129
外 科	4,834	4,641	193	6,278	6,091	187
整形外科	10,974	12,057	△ 1,083	6,396	6,352	44
脳神経外科	2,815	3,506	△ 691	953	918	35
皮 膚 科	535	561	△ 26	5,289	6,549	△ 1,260
泌尿器科	1,916	1,882	34	4,346	3,887	459
産婦人科	3,129	3,733	△ 604	8,221	8,385	△ 164
眼 科	1,805	1,766	39	6,649	6,840	△ 191
耳鼻咽喉科	1,390	1,356	34	5,321	5,263	58
放射線科	0	0	0	3,194	2,114	1,080
麻 酔 科	0	0	0	0	0	0
計	47,318	51,660	△ 4,342	76,472	76,989	△ 517

## 5 要望事項等

市立病院では、大勢のまた分野の異なる専門職の職員が在籍しているため、より風通しの良い職場環境が求められます。引き続き、管理職、監督職を中心に、お互いへの目配り、気配りを心掛けて、働きやすい職場作りに努め、患者サービスの向上に繋がりたい。

## ◇ 会 計 管 理 局

### 1 職員の配置状況(令和7年11月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
会計管理者兼局長	1		1	
審 査 係	5	3	8	育児休業中1
計	6	3	9	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

財政調整基金については、満期前に基金を保管している担当課と状況把握を行っています。市の事業計画に基づいて、担当課と資金計画を検討し、今後の運用計画に反映するよう努められたい。

#### (2) 処理済の事項

基金の運用については、満期前に各担当課への今後の運用について確認する書類を送付し、それに基づき運用を行っております。今後も、担当課と基金の活用予定について十分協議し、効率的な運用を行います。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年11月6日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
492,000	319,585	319,585	0	65.0	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
28,722,000	14,193,398	14,528,602	49.4

4 基金及び出資金等の保管状況（令和7年10月31日現在）

基金	金額（円）	出資金・出捐金等	金額（円）
財政調整基金	8,672,694,228	静岡県農業近代化資金出資金	890,000
学校施設整備基金	1,809,867,787	静岡県信用保証協会出捐金	12,503,000
社会福祉施設整備基金	290,046,483	富士宮市土地開発公社出資金	5,000,000
山下サダ育英奨学基金	16,204,745	静岡県漁業信用基金協会出資金	7,000,000
土地取得基金	576,748,053	(公社)静岡県家畜畜産物衛生指導協会出資金	440,000
水と緑の創生基金	63,648,588	静岡県農業信用基金協会出資金	1,700,000
減債基金	1,318,423,250	(公財)静岡県グリーンバンク出捐金	180,000
職員退職手当基金	1,360,708,548	(一財)静岡県勤労者信用基金協会出捐金	8,378,000
道の駅朝霧高原地域振興施設整備基金	132,986,372	(公財)富士宮市振興公社出資金	11,000,000
観光施設整備基金	5,725,425	(公財)静岡県文化財団基本財産出捐金	3,487,000
災害対策基金	304,746,133	(公社)静岡県緑化推進協会基金出資金	844,000
世界遺産富士山基金	154,555,505	富士森林組合出資金	650,000
庁舎整備基金	753,699,467	(一財)砂防フロンティア整備推進機構出捐金	700,000
職員共済基金	12,020,000	死亡獣畜処理基盤強化基金出資金	8,508,000
池田教育基金	24,000,000	(公財)静岡県腎臓バンク出捐金	1,300,000
国際交流基金	100,000,000	(公財)静岡県暴力追放運動推進センター出捐金	3,460,000
地域福祉基金	88,721,997	(公財)しずおか健康長寿財団出捐金	1,220,000
農村地域活動支援基金	10,000,000	富士宮市救急医療協会出捐金	15,000,000
ふるさと応援基金	2,071,461,783	(公社)静岡県山林協会出捐金	16,179,000
森林環境基金	146,184,652	(公財)静岡県障害者スポーツ協会出捐金	865,000
新型コロナウイルス感染症対策基金	19,633,743	富士コミュニティエフエム放送株出資金	4,450,000
経済変動対策貸付資金利子補給基金	13,654,600	地方公共団体金融機構出資金	7,300,000
国民健康保険保険給付等支払準備基金	423,297,203		
介護保険給付等支払準備基金	1,606,888,083		
北山財産区基金	631,411,064		
上井出区財産区基金	423,244,000		
猪之頭区財産区基金	100,496,000		
小計	21,131,067,709	小計	111,054,000
合計			21,242,121,709

5 要望事項等

会計管理局の担当事務として記載がある各課の財産の記録管理に関して、財政課とともに業務を行われています。決算資料の一部となることから、また、在庫管理的な観点からも、各課から保有財産の異動についての報告を徹底し、正確な台帳管理に努められたい。

## ◇ 消 防 本 部

1 職員の配置状況（令和7年8月1日現在）

（単位：人）

区 分		職員	計	備 考	
消 防 長		1	1		
消 防 次 長		1	1	警防救急課長を兼務	
消 防 総 務 課	課 長	1	11	静岡県消防防災航空隊派遣1 消防学校へ入校4	
	総 務 係	5			
	課 付	5			
予 防 課	課 長	1	10	再任用1	
	予 防 審 査 係	4			
	予 防 査 察 係	5			
警 防 救 急 課	課 長	(1)	18	消防次長が兼務 再任用1、危機管理局危機管理担当主査を 併任2 再任用1 富士市・富士宮市消防通信指令事務協議 会へ派遣 再任用1、富士市・富士宮市消防通信指令 事務協議会へ派遣7	
	警 防 係	7			
	救 急 管 理 係	3			
	情 報 指 令 室	参事兼情報 指 令 室 長			1
		指 令 係			7
中 央 消 防 署	署 長	1	67	消防学校へ入校2	
	副 署 長	2			
	庶 務 係	8			
	予 防 係	10			
	警 防 係	12			
	救 急 係	8			
	芝 川 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			12
	東 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			12
西 消 防 署	署 長	1	63	再任用1	
	副 署 長	2			
	庶 務 係	6			
	予 防 係	6			
	警 防 係	6			
	救 急 係	8			
	北 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			20
	上 野 分 署	分 署 長			1
		警 防 係			12
合 計		171	171		

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

救急現場における病院選定から患者収容までを円滑に行い、救命率の向上を図るために、医療機関との連携体制の強化を図り、円滑な救急患者受入体制の構築が進められています。その中で救急車の適正利用は不可欠であることから、地域の方々に理解と協力を求めるため、消防団の協力を得るなどして、寄り合い処や高齢者施設を活用した広報活動や協力要請も検討するなど、より一層の周知に努めることを要望します。

### (2) 処理済の事項

市民の理解と協力を得るため、イベント等や定期的で開催している救急講習等の講習を通じて、救急車の適正利用について広報活動をしています。

また、高齢者施設及び民生委員に対して、救急活動の現状や「救急安心電話相談窓口(#7119)」について説明し、救急車の適正利用についての理解に繋がるよう努めています。

さらに、消防団に対しては、応急手当指導員・普及員講習、普通救命講習を通じて、救急車の適正利用の必要性について理解を促しています。

### (3) 未処理事項の処理予定

消防団は、地域と密着した存在であることから、今後も連携し、救急車の適正利用について広報を実施すべきであるが、誤った伝わり方により、市民に必要な救急要請を躊躇させないため、広報については慎重に検討を進めます。

## 3 予算の執行状況(令和7年8月5日現在)

### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
54,104,000	11,783,641	11,677,670	105,971	21.6	99.1

### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
2,463,212,000	587,264,670	1,875,947,330	23.8

#### 4 火災発生状況

区 分	単位	令和7年7月31日現在	令和6年7月31日現在	比較増減	
出 火 件 数	建 物	件	6	7	△ 1
	林 野	件	0	0	0
	車 両	件	3	0	3
	そ の 他	件	14	3	11
	計	件	23	10	13
焼 損 棟 数	棟	7	17	△ 10	
建物焼損面積	m <sup>2</sup>	480	485	△ 5	
林野焼損面積	a	0	0	0	
死 者	人	0	0	0	
負 傷 者	人	0	0	0	
り 災 世 帯 数	世帯	0	11	△ 11	
り 災 人 員	人	0	30	△ 30	
損 害 額	千円	9,558	61,959	△ 52,401	

#### 5 立入検査等の状況(令和7年7月31日現在)

(単位：件・人)

区 分	件 数	延 人 員
防火対象物	89 (103)	283 (271)
危険物施設	68 (55)	205 (110)
計	157 (158)	488 (381)

(注) 下欄( )は、前年度同期

#### 6 消防車の出動状況(令和7年7月31日現在)

(単位：件・台・人)

出 動 件 数	出 動 台 数	出 動 人 員
232 (242)	264 (277)	927 (999)

(注) 下欄( )は、前年度同期

7 救急車の出動状況(令和7年7月31日現在) (単位:件・人)

出動件数	搬送件数	搬送人員
2,014	1,879	1,895
(2,143)	(1,984)	(1,988)

(注) 下欄( )は、前年度同期

8 消防団員の状況(令和7年8月1日現在) (単位:人)

区 分		団 員 数	定 数
団本部	団 長	1 ( 1 )	33
	副 団 長	4 ( 4 )	
	分 団 長	23 ( 22 )	
	班 長	1 ( 1 )	
	団 員	10 ( 7 )	
	計	39 ( 35 )	
分 団	第1分団～ 第28分団	631 ( 641 )	707
合 計		670 ( 676 )	740

(注) ( )は、前年度同期

9 要望事項等

救急車の適正利用について、活発な広報活動が行われて認知度が上がっています。今後は、重要課題となっている「630問題」の解消に繋げるため、関係部署と連携して、あらゆる機会を通じてマイナ保険証の活用も意識していただければ、引き続き市民への啓発に努められたい。

## ◇ 教 育 部

### ◎ 教育総務課

#### 1 職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
部 長	1		1	
参 事	1		1	社会教育課長を兼務
課 長	1		1	
総 務 係	5	2	7	育児休業中1
施 設 経 理 係	5	1	6	
計	13	3	16	

#### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

##### (1) 要望内容

各小中学校施設の改修等については、地域性や学校規模を考慮した上で、公平に効率的に進めることができています。今後においても、緊急性のある場合には、自治会、PTA等との協議を行いながら、引き続き計画的に整備を進めていくよう要望します。

##### (2) 処理済の事項

各小中学校施設の改修等については、地域性や学校規模を考慮した上で、公平かつ効率的に行っております。

また、緊急性のある事案については、関係団体との協議をした上で、改修等を行っております。

##### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年9月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
125,686,000	1,043,218	42,904	1,000,314	0.0	4.1

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,772,986,000	607,931,749	1,165,054,251	34.3

### 4 要望事項等

各小中学校施設の改修や修繕について、学校からの意見聴取をもとに現場確認を行った上で、関係団体とも協議を行いながら、公平かつ効率的に進められています。

既存施設を工事、修繕する際には、過去の 신설時の設計情報と相違が発生し、工期・工法に支障が発生する場合もあることから、改修時の特記事項については、記録を引き継いでいくよう努められたい。

## ◎ 学 校 教 育 課

### 1 職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	
参 事	1		1	
学 事 係	4	3	7	育児休業中2
教 職 員 係	3		3	
指 導 係	5	6	11	
計	14	9	23	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

補助金を活用した研究会の活動を通して、児童生徒の学力の向上を図る研究が行われています。その中で、こどもたちが主体となって自らが考え、課題を解決していく学びが進められていることから、日常の現実的な出来事をテーマに実践的な取組を行うなど、さらに学びが深められ学習に興味を持てるよう努められたい。

#### (2) 処理済の事項

第1回・第2回市内全体研修会推進委員会、第1回市内全体研修会、第1回・第2回市内全体研修会運営委員会、夏の教育講演会を通して、「主体的、対話的で深い学びを実現する授業」「資質・能力を育む単元構想」を重点として、「確かな学力が育つ授業」の構想図の具現化を、市内全教職員で取り組んでおります。

第1回市内全体研修会で、各教科・領域等から提案された授業を受け、「こども理解」と「教材分析」の重要性を、こどもの具体の姿から再確認しました。

第2回市内全体研修会運営委員会で、「深い学び」について、さらに実現できるように、成果と課題を共有し、11月12日（基準日）に向け、また、日々の授業実践に向けて、さらに、研修を積んでいきます。

第2回市内全体研修での実践を受け、最終的には、確かな学力が育つ授業 教育実践集録 第32集で、成果と課題をまとめ、次年度へとつなげていく予定です。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年9月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
20,641,000	7,331,587	7,310,527	21,060	35.4	99.7

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,041,509,000	437,522,388	603,986,612	42.0

4 要望事項等

市内全体研修会の活動を通して、子ども達が主体的に学ぶことと、教材分析の重要性を再確認し、課題の確認と成果のまとめに取り組んでいます。今後も、研修会の場を大いに活用して、市内全教職員で課題と成果を共有し、学びの意欲の醸成と実践に繋げていくよう努められたい。

## ◎ 社会教育課

### 1 職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	教育部参事が兼務
生涯学習係	6	1	7	
家庭・青少年係	4	2	6	
家庭・青少年係 (青少年相談センター)		8	8	
南部公民館		5	5	
富士根北公民館		5	5	
富士根南公民館		6	6	
西公民館		6	6	
芝川公民館		6	6	
柚野公民館		5	5	
上野・北山 地域学習センター		4	4	
白糸・上井出 地域学習センター		2	2	
計	11	50	61	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

教育支援センターでは、一人一人の学びの状況に応じた学習計画を立てられています。今後においても、日頃からの声かけなどによって、子どもたちの様々な特性を把握することにより、効果的な学習プランが実践されるよう引き続き努められたい。

#### (2) 処理済の事項

教育支援センターでは、学校への行きづらさがある子どもたちの気持ちに寄り添うことを心掛けています。学習においては児童・生徒とコミュニケーションを取り、自ら課題を見つけ、解決に向け取り組むことができるよう、個に合った学習計画を立てています。また、保護者から得た児童・生徒の家庭での様子も踏まえながら、全職員で情報共有し、よりよく学べる環境作りに取り組んでいます。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年9月4日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
10,231,000	1,735,571	1,591,781	143,790	15.6	91.7

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
439,073,000	193,124,678	245,948,322	44.0

### 4 公民館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和7年8月31日現在	令和6年8月31日現在	比較増減
南部公民館	6,234	6,359	△ 125
富士根北公民館	4,492	5,758	△ 1,266
富士根南公民館	9,943	12,453	△ 2,510
西公民館	9,156	9,194	△ 38
芝川公民館	3,712	4,104	△ 392
芝川公民館内房分館	756	769	△ 13
柚野公民館	1,843	1,733	110
小 計	36,136	40,370	△ 4,234
上野地域学習センター	4,293	6,521	△ 2,228
北山地域学習センター	1,832	2,684	△ 852
白糸地域学習センター	1,021	1,154	△ 133
上井出地域学習センター	583	644	△ 61
小 計	7,729	11,003	△ 3,274
芝川中学校	119	135	△ 16
芝川文化ホール	5,141	5,831	△ 690
小 計	5,260	5,966	△ 706
合 計	49,125	57,339	△ 8,214

### 5 要望事項等

各公民館等施設利用状況については、利用者の少子高齢化が進んでおり、特に若年層の利用が減少する等の要因から、全体的に、少しずつ減っていることがうかがわれます。市民が日頃から気軽に立ち寄り集まれる場所として活用されるよう、利用者の方々のご意見要望等を参考に検討していくことを要望します。

## ◎ 文化課

### 1 職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度 任用職員	計	備 考
課 長	1		1	埋蔵文化財センター所長及び市史編さん室長を兼務
埋蔵文化財センター所長	(1)		(1)	文化課長が兼務
市史編さん室長	(1)		(1)	文化課長が兼務
芸術文化係	4	1	5	
学術文化財係	4	1	5	市史編さん室 主任主査を兼務1 学芸員を兼務2 病気休暇中1
埋蔵文化財センター	3	7	10	市史編さん室 主任学芸員を兼務1 学芸員を兼務2
市史編さん室	2	1	3	学術文化財係 係長が兼務1 学芸員が兼務2 埋蔵文化財センター 主任学芸員が兼務1 学芸員が兼務2
計	14	10	24	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

史跡大鹿窪遺跡の管理運営については、地元住民で構成する団体と協議を進められていますので、その方法を課題と捉えて、念入りな協議の上、歴史的財産の維持、保護について方向性を見出ししていくことを要望します。

また、市民文化会館のリニューアルに伴う備品整理については、その経緯の把握と検証を適正に行い、今後においても、あらゆる備品は市の貴重な財産であるという観点で管理使用していくことを心がけるよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

地元住民と協議を重ね、地元住民を中心に構成する団体「大鹿窪遺跡環境部」に遺跡の維持管理を委託し、草刈りや施設の点検、定期的な見回りを行うなど、遺跡の保護活動を行っています。また、市の学芸員が行う体験講座のほか、「柚野の里縄文まつり」での体験学習の実績・ノウハウを持つ地元住民の有志で構成する「大鹿窪遺跡友の会」に、体験教室開催等の活用事業を委託しました。体験教室の名称を「富士山縄文の学校」とし、オープンに伴う体験学習の日の実施や、定期的な体験教室を行っています。これらを通し、遺跡の本質的な価値の理解促進と周知に努めています。

市民文化会館のリニューアルに際し処分した備品については、老朽化や破損、使用目的に適合しない等の理由を整理し、その経緯を把握しました。処分にあたり、使用状況や耐用年数等を踏まえ妥当性を検証した上で、市の財産として有効活用できるよう、他部署での使用可否を確認し、可能なものは移管しました。安全性・保管場所等を考慮し、再利用が困難なもののみ処分しました。

(3) 未処理事項の処理予定

今後も継続して遺跡の維持管理・利活用を行い、遺跡の保護と本質的な価値の理解促進、周知を行います。

市民文化会館の備品管理について、今後も備品は市の貴重な財産であることを踏まえ、使用・管理方法を適正に行います。定期的に備品の使用状況や老朽化を点検し、廃棄が必要になった場合は経緯を記録します。

また、リニューアルオープンに向けて、新たに必要な備品を購入する予定ですが、購入・使用・保管の各段階で適正管理を徹底します。

3 予算の執行状況(令和7年9月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
36,097,000	2,062,729	1,612,729	450,000	4.5	78.2

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,674,836,000	571,855,679	1,102,980,321	34.1

4 要望事項等

(仮称) 富士宮市立郷土史博物館に係る基本計画について、市民説明会やワークショップ等で策定内容を示しながら、併せて意見聴取を行い、策定が進められています。

まずは、市民の理解を得られることが必要不可欠なことから、市の思い描いている構想を十分に伝え、説明責任を果たして次の段階へ進めていくことを要望します。

## ◎ スポーツ振興課

### 1 職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

(単位:人)

区分	職員	会計年度 任用職員	計	備考
課長	1		1	
施設係	2		2	
振興係	4	3	7	
計	7	3	10	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

多くの市民に、一流選手の競技を身近に感じていただくことができるよう、全国大会や国際大会の誘致活動に積極的に取り組まれています。大会を実施することにより、市民の体力づくり、スポーツの推進はもとより、市の魅力を発信できるチャンスと捉えて、引き続き積極的な誘致活動に取り組まれていくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

ベルテックス静岡のプレシーズンゲームを誘致・開催し、2日間で約3,000人が観戦しました。

また、10月4日及び5日に静岡ジェード(卓球Tリーグ)のホームゲームを開催します。

引き続き、大会の誘致に向け、様々な団体と接触し、交渉してまいります。

なお、令和10年度に東海地区で全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が開催されることから、男女ソフトボール競技の誘致活動をした結果、富士宮市での開催が決まりました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

### 3 予算の執行状況(令和7年9月10日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
24,011,000	8,008,360	7,821,860	186,500	32.6	97.7

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
423,779,000	128,970,014	294,808,986	30.4

## 4 体育館等施設利用状況

(単位:人)

区 分	令和7年8月31日 現在	令和6年8月31日 現在	比 較 増 減
市 民 体 育 館	73,918	68,155	5,763
市 民 プ ー ル	64,392	62,313	2,079
芝川B&G海洋センター	8,154	7,290	864
芝川B&G海洋センター プ ー ル	2,468	2,141	327
市民テニスコート	38,999	38,808	191
外神スポーツ広場	16,218	17,275	△ 1,057
上井出スポーツ広場	2,512	2,787	△ 275
物見山スポーツ広場	3,136	2,726	410
山宮ふじざくら球技場	21,237	20,025	1,212
富士山スタジアム	2,994	9,288	△ 6,294
芝川スポーツ広場	7,758	6,833	925
計	241,786	237,641	4,145

## 5 要望事項等

トップアスリート等派遣事業について、協定を結んでいる団体の協力を得ながら、こども達においても、知名度の高い選手を招いて魅力的な事業が展開されています。このような機会を通して、こども達にスポーツの魅力を伝え、未来への希望が持てるようなスポーツ環境を展開していくことに努められたい。

## ◎学校給食センター

### 1 職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	市職員	県職員 (栄養教諭)	市会計年度 任用職員	県会計年度 任用職員 (栄養士)	計	備 考
所 長	1				1	
総 務 係	3				3	
-		2		1	3	担当事務内容の一部を 市管理栄養士が担当
計	4	2	0	1	7	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

当市の学校給食センターでは、県内でも他に1市程度しか例のない、市内の全学校の給食を賄う大規模な体制をとっており、施設見学試食会に対する期待が高まっているところです。コロナが終息して見学の希望件数が増えていることから、施設見学が市の認知度アップ、食育活動の充実にも繋がることも視野に入れ、今後も見学に対する受入れ態勢の充実を図るよう努められたい。

#### (2) 処理済の事項

小中学校の社会科見学や一般の見学試食会では、施設見学のほか給食センターの紹介DVD、栄養教諭が制作した調理工程の様子や納入業者である市内農家を紹介したYouTubeを視聴しています。また、学校給食センターのパンフレット、施設の概要、学校給食やレシピ紹介のチラシなどを配布し、食育活動の推進や市内農家の取り組みなどのPRを行い、食に対する理解・関心を深めています。なお、ホームページにて広く市内外からの見学の受け入れを広報しています。

#### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年9月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
525,987,000	188,749,415	173,877,964	14,871,451	33.1	92.1

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
1,069,260,000	369,864,739	699,395,261	34.6

4 要望事項等

施設の見学はもとより、栄養教諭が自ら製作したYouTube動画を配信するなどして、小中学校の社会科見学や一般の見学試食会への対応の充実が図られています。

今後も引き続き、YouTube動画の視聴などにより、生産者の生の声を届けるなど、より多くの児童生徒に地産地消の意識を持たせ、給食を美味しく食べてもらえるよう努められたい。

## ◎ 中央図書館

### 1 職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

(単位:人)

区 分		職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
中央 図書館	館 長	1		1	
	管 理 係	6	8	14	
	サービ <span>ス</span> 係	5	17	22	育児休業中1
	計	12	25	37	
西富 士図 書館	館 長	1		1	
	図 書 館 職 員	1	4	5	
	計	2	4	6	
芝 川 図 書 館	館 長	1		1	
	図 書 館 職 員	1	4	5	
	計	2	4	6	
合 計		16	33	49	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

施設利用状況によると、市内各所を巡回する自動車図書館の利用が活発となっています。多くの小学校を巡回することによって、身近な場所で図書が借りられるサービスとして、地域学校側の理解や協力も十分に得られていることが要因となっているようです。また、併せて地域の高齢者等の利便性の向上にも繋がっていることから、引き続き利用者のニーズに柔軟に対応して、更なる利用の促進に繋げていくことを要望します。

#### (2) 処理済の事項

広い市域に対応した図書館サービス網のため、また、学校、保育園などをはじめ地域の方の読書活動を支援するため、2台の自動車図書館が市内64か所を巡回しています。

小学校や保育園では、新入学・入園児への図書館利用カード一括交付とオリエンテーションを年度初めに実施し、こどもたちに図書館や自動車図書館の使い方の説明をしています。また、高齢者の利用の多い一般ステーションでは、利用者の要望を伺い、次の巡回に資料を用意して持っていくなど、利用者のニーズに寄り添ったサービスを実施しています。

(3) 未処理事項の処理予定

今後も図書館ウェブサイトや市広報などを活用した周知活動を実施し、自動車図書館の利用促進を図ります。

3 予算の執行状況(令和7年9月4日現在)

(1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
167,000	137,550	104,550	33,000	62.6	76.0

(2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
334,503,000	130,626,919	203,876,081	39.1

4 図書館利用登録数

(単位:人・団体)

区分	令和7年8月31日 現在延登録数	令和7年4月1日から 8月31日までの登録数	令和6年4月1日から 8月31日までの登録数
個人	121,919	862	888
団体	312	161	160

## 5 利用状況（令和7年8月31日現在）

（単位：日・人・冊・回）

区 分	開館(巡回)日数	利用人数	1日当り 利用人数	貸出冊数	1日当り 貸出冊数	備 考
中央図書館	123 ( 123 )	73,066 ( 74,576 )	594 ( 606 )	193,145 ( 197,717 )	1,570 ( 1,607 )	
自動車図書館	120 ( 119 )	12,346 ( 11,987 )	103 ( 101 )	24,176 ( 23,861 )	201 ( 201 )	巡回回数 559 (553)
西富士図書館	123 ( 123 )	10,144 ( 10,998 )	82 ( 89 )	32,355 ( 34,613 )	263 ( 281 )	
芝川図書館	122 ( 123 )	8,726 ( 8,879 )	72 ( 72 )	26,744 ( 26,545 )	219 ( 216 )	
駅前交流 センター	148 ( 148 )	1,228 ( 1,307 )	8 ( 9 )	2,053 ( 2,139 )	14 ( 14 )	
大富士交流 センター	125 ( 131 )	4,283 ( 4,624 )	34 ( 35 )	10,703 ( 12,607 )	86 ( 96 )	
富丘交流 センター	132 ( 128 )	2,082 ( 2,053 )	16 ( 16 )	4,804 ( 4,788 )	36 ( 37 )	
計	—	111,875 ( 114,424 )	—	293,980 ( 302,270 )	—	

（注）下欄（ ）は、前年度同期

## 6 要望事項等

特に高齢者層に対して親切丁寧に要望を聞くなど、利用者に寄り添ったサービスが実施されていることから、自動車図書館の利用人数の増加に繋がっております。今後も引き続き丁寧な対応を心がけ、更なる利用者の増加に繋がられるよう要望します。

また、富士根交流センター内の図書館について、地域への周知に力を入れ、1人でも多くの方が利用できるよう努められたい。

## ◎ 小・中学校

### 1 教職員の配置状況(令和7年9月1日現在)

(単位:人)

区 分	県 職 員 数		市 職 員 数		計
	正 規	会計年度任用職員	正 規	会計年度任用職員	
小 学 校	422	67	0	123	612
中 学 校	281	38	3	60	382
計	703	105	3	183	994

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

1人1台パソコンの利用ルールについて、児童生徒及び保護者に対して常に情報モラルの確認が行われています。また、クロームブックの「心の健康チェック」を利用して、こどもたちへの声かけや利用の際の事前ケアも行われています。今社会で起きている現実の出来事を題材にして情報提供の機会も設けられているようですので、こどもたちが自ら、日頃の生活の中でも危険予知のアンテナを持てるよう、引き続き家庭と連携して注意喚起に取り組むよう要望します。

#### (2) 処理済の事項

##### ① 富士宮市立上井出小学校

#### ○1人1台パソコンの利用ルールについて(学校と家庭の連携)

- ・市のICT活用推進委員会が作成した「端末使用のルール」をこどもと確認するとともに、保護者にも配布しています。また、利活用の目的を伝えるとともに、こどもが正しく利活用することに関する同意書の提出を保護者にお願いしています。

- ・情報モラルについては、1人1台パソコンに情報モラルを個々に学習できるアプリを導入しており、学級活動や道徳等で活用しています。また、学校評価を活用してパソコンの使い方や情報モラルの大切さについて指導する機会としています。

- ・定期的に4・5・6年生を対象に、家庭教育学級と連携して富士宮市教育委員会社会教育課による情報モラルに関する出前講座を行い、保護者にも参加を呼び掛けています。

- ・1人1台パソコンを活用して「心の健康チェック」を全児童が確実に実施できるように、教育計画に実施日を明記したり、校内放送でこどもが、実施を呼び掛けたりしています。

##### ② 富士宮市立人穴小学校

- ・1人1台パソコンの利用ルールについて、こどもと確認するとともに、保護者に配布したり全校一斉懇談会において確認したりしました。

- ・こどもが正しく利活用することについて同意書を保護者は提出しています。

- ・学級活動や道徳の時間を活用し、情報モラルについて各クラスで指導しています。

### ③ 富士宮市立井之頭小学校

#### ○1人1台パソコンの利用ルールについて（学校と家庭の連携）

・市のICT活用推進委員会が作成した「たこのからあげ」というルールの頭文字をとった合言葉（ルール）を端末のトップ画面に表示し、こどもが常に確認できるようにしています。クロームブックの掲示板を定期的にチェックし、学習と関係のない内容（書き込み）と担任が判断した場合は、本人と話をして削除しています。保護者にも「新しい学びに向けた1人1台パソコンの利用について」のプリントを配布し、使用に関するお願いをしています。

・「心の健康チェック」を毎週行い、こどもが自分の心や体と向き合うきっかけをつくるとともに、さまざまな方法で心のSOSを発信できるようにしています。教職員がこどもの心身の状態の変化を早期発見し、相談支援等の対応につなげる手段の一つとしています。

・情報モラル教育については、「令和7年度 いじめ防止プログラム年間計画」に位置付けて、道徳の授業で行います。

### ④ 富士宮市立白糸小学校

#### ○1人1台パソコンの利用ルールについて（学校と家庭の連携）

・市のICT活用推進委員会が作成した「端末使用のルール」をこどもと確認するとともに、保護者にも配布しています。また、利活用の目的を伝えるとともに、お子さんが正しく利活用することに関する同意書を保護者が提出しています。

・情報モラルについては、いつでも学習できるように1人1台パソコンにアプリを導入しており、学級活動や道徳等で活用しています。また、毎年4・5・6年生は、NTTdocomoが主催する講座を受講するとともに、全学年の保護者にも参加を呼び掛けています。

・情報教育タイムを設け、全校児童を対象に市や県、国、民間企業が作成した資料や動画などを活用しながらメディアや情報との向き合い方について学んでいます。養護教諭からもメディアと健康の関係について伝えています。

### ⑤ 富士宮市立西富士中学校

#### ○1人1台パソコンの利用ルールについて

・市のICT活用推進委員会が作成した「端末使用のルール」を生徒と確認するとともに、保護者にも配布しています。さらに、保護者の確認後、同意書の提出をお願いしています。

・「心の健康チェック」を毎週水曜日に行い、生徒の体調面だけでなく、心の状態や変化等全職員で把握し、担任を中心に声掛けを行っています。

・年度初めに生活面・学習面等を学校独自にまとめた「西富士中スタイル」を配布しました。その中に、クロームブックの使用法や情報モラルについての記載もあり、全体で確認の時間を設定しました。

・4月に情報教育講座を行い、クロームブックだけに特化せずSNS等の使い方も含めて話を聞きました。講座の内容は学校だよりで保護者、地域へ伝えています。

### ⑥ 富士宮市立井之頭中学校

#### ○タブレットの使用ルールについて

- ・各授業で指導しています。
- ・長期休業前に全体で確認を行っています。
- ・三者面談での保護者への啓発を行っています。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

3 予算の執行状況(令和7年9月4日現在)

(1) 歳出(小学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
47,323,000	20,339,629	26,983,371	43.0

(2) 歳出(中学校費)

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
30,815,000	10,600,673	20,214,327	34.4

4 児童・生徒の状況

(1) 小学校21校 児童数(令和7年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通学級	836	861	944	949	956	1,029	5,575
特別支援学級	21	22	30	29	30	32	164
計	857	883	974	978	986	1,061	5,739

(2) 中学校13校 生徒数(令和7年5月1日現在)

(単位:人)

区 分	1 年	2 年	3 年	計
普通学級	1,055	1,052	1,064	3,171
特別支援学級	33	28	30	91
計	1,088	1,080	1,094	3,262

5 要望事項等

タブレットの使用ルール及び情報モラルの大切さについて、児童生徒への指導と保護者へのお願いが行われています。情報が錯綜している社会の中で、正しい情報を選ぶことができるよう、事例を挙げて説明するなど、タブレットの正しい使用方法や情報管理についての基本ルールを伝えていくよう引き続き努められたい。

\*定期監査では小学校4校(上井出・人穴・井之頭・白糸)、中学校2校(西富士・井之頭)の6校において、予備監査・監査委員監査を実施しました。

# ◇ 市 議 会 事 務 局

## 1 職員の配置状況(令和7年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度 任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	
事 務 次 長	1		1	
庶 務 調 査 係	3		3	
議 事 係	3		3	
計	8	0	8	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

長年にわたり継続実施している高校生議会に加えて、小学生が議場見学を行う機会を増やし、身近に政治を感じられる事業の拡大に努められています。さらに、社会人の中でも特に社会経験の浅い若年層の方々にも、少しでも政治に関心を持っていただけるよう、ホームページ等の活用により情報を拡散するなど、より一層の周知に力を入れていくことを要望します。

### (2) 処理済の事項

主権者意識醸成のため、毎年小学校5・6年生を対象に夏休みを利用して親子議場見学会を実施し、また小学校からの議会傍聴依頼や議場見学を受け入れ、子どもたちが議会や政治に興味を持つきっかけとなるよう事業を実施しています。

### (3) 未処理事項の処理予定

ホームページ、市SNS等を活用した若者向けの広報方法を検討していきます。

## 3 予算の執行状況(令和7年8月5日現在)

### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
440,000	440,168	440,168	0	100.0	100.0

### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
294,550,000	114,442,080	180,107,920	38.9

## 4 要望事項等

親子議場見学会については、若年層の方が議員の仕事や政治、社会に興味を持つ貴重な機会として、今後も継続して開催していくよう要望します。

また、市議会議員に貸与されているタブレットについては、外部の政務活動でも使用できるよう改善されたことから、有効利用が期待できる反面、紛失や盗難等も懸念されるため、今後も端末の適正な取扱い・管理の徹底を要望します。

## ◇ 選挙管理委員会事務局

### 1 職員の配置状況(令和7年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職員	会計年度任用職員	計	備 考
事 務 局 長	1		1	行政課長が併任
次 長	1		1	行政課選挙係長を併任
選 挙 係	2	2	4	行政課選挙係主事を併任2
計	4	2	6	

### 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

#### (1) 要望内容

出前講座や新有権者を対象にバースデーカードを発送するなどして、継続的に選挙への啓発活動に取り組まれています。若い世代に対しては、現在行っているSNSを活用した啓発に加えて、マイナポータル機能にも目を向けるなど、より効果的な啓発活動が行えるよう研究していくことを要望します。さらに、他の部署の協力を得て、企業等を通じての投票に参加するという啓発活動の検討にも努められたい。

#### (2) 処理済の事項

令和7年7月20日執行の参議院議員通常選挙については、昨年の静岡県知事選挙及び衆議院議員総選挙と同様の対応に加え、新有権者となる市内高等学校等の3年生へ若年層啓発を目的に、本年5月に作製した「富士宮市選挙手帳」を配布しました。また、商工振興課と協力し市内企業に対して、企業メルマガを活用し、投票への参加を呼びかけました。

#### (3) 未処理事項の処理予定

9月から順次、市内小・中・高等学校にてせんきょ出前講座や模擬投票を実施してまいります。

また、マイナポータル機能については、各選挙における不在者投票の請求について、次回の選挙でオンライン請求ができるよう取り組んでまいります。

### 3 予算の執行状況(令和7年8月5日現在)

#### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
48,915,000	24,000,000	24,000,000	0	49.1	100.0

#### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
82,992,000	25,825,969	57,166,031	31.1

## 4 選挙の執行状況(令和7年8月5日現在)

(単位:%)

選挙名	選挙期日	投票率	備考
参議院議員通常選挙	令和7年7月20日	56.70	令和7年7月3日公示

## 5 要望事項等

マイナポータルの機能を使って、不在者投票のオンライン請求ができる手法を新たに取り入れるなど、有権者がより投票しやすくなるよう取り組まれています。

また、まだ選挙権のない小中学生にも、選挙の必要性を感じてもらうことが重要であるため、SNSなどを活用しながら、社会人・家庭を含めただれにもわかりやすい啓発活動を進めるよう要望します。

# ◇ 農 業 委 員 会 事 務 局

## 1 職員の配置状況(令和7年8月1日現在)

(単位:人)

区 分	職 員	会計年度 任用職員	計	備 考
局 長	1		1	農業政策課長が併任
次 長	1		1	振興係長を兼務
振 興 係	3	2	5	産後休暇中1
計	5	2	7	

## 2 前回の定期監査の要望事項等の処理状況

### (1) 要望内容

農地等の利用の最適化推進に取り組んでいる中で、今後の農地の利活用については、農地所有者と担い手それぞれの状況把握を的確に行い、農地及び後継者の見極めを適正に行うよう要望します。

また、農地転用については、資材置き場への転用が増加していますが、その後に、産業廃棄物の不法投棄場所に利用される例もあるとのことですので、転用後の状況について、引き続き関係課との情報共有を継続し現況を確認するなど、適正な農地活用の促進に努められたい。

### (2) 処理済の事項

農地等の利活用については、静岡県農業振興公社、富士伊豆農協および農業委員会と連携し、農地の出し手と受け手、それぞれの農地利用の意向を的確に行い、継続的な営農活動が見込まれた場合にあっては、農地のあっせん事業を推進しました。

また、農地転用申請が提出されたものについては、法令に基づき、その転用内容について必要性を十分審議したのち許可を決定しています。その後は、転用完了時に完了報告書の提出を求め、転用後の土地利用について現状確認、また、農業委員・推進委員による農地パトロールにおいて、土地の利用状況の確認を行うなど、農地利用の適正化に努めました。

### (3) 未処理事項の処理予定

なし

## 3 予算の執行状況(令和7年8月5日現在)

### (1) 歳入

(単位:円・%)

予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	収入未済額 B-C	対予算 収入率 C/A	対調定 収入率 C/B
6,040,000	716,700	716,700	0	11.9	100.0

### (2) 歳出

(単位:円・%)

予算現額 A	支出済額 B	予算残額 A-B	執行率 B/A
51,055,000	18,498,891	32,556,109	36.2

## 4 農地法による許可等の状況(令和7年8月1日現在)

(単位:件・㎡)

名 称		件 数	面 積
第3条(農地の所有権等の移動及び権利の設定)		38 ( 33 )	42,191.55 ( 50,643.00 )
第3条第3項 (相続等によって農地を取得した届出)		10 ( 15 )	22,333.21 ( 47,377.68 )
第4条(所有農地の転用)	市街化区域	12 ( 11 )	4,980.00 ( 5,866.00 )
	市街化調整区域	0 ( 1 )	0.00 ( 127.00 )
第5条(所有権等の権利移動及び 権利の設定に伴う農地の転用)	市街化区域	41 ( 51 )	26,392.91 ( 25,106.50 )
	市街化調整区域	15 ( 10 )	11,995.00 ( 6,884.00 )
第18条(賃貸借の解約)		6 ( 4 )	12,116.00 ( 53,210.88 )
非農地証明(農地以外の用途で10年を経過)		6 ( 7 )	2,302.00 ( 4,951.92 )
事業計画変更申請及び届出		0 ( 2 )	0.00 ( 548.00 )
諸 証 明	転用事実確認証明	0 ( 3 )	0.00 ( 1,620.00 )
	耕作証明	30 ( 2 )	
	許可済証明・提出中の証明	18 ( 36 )	

(注) 下欄( )は、前年度同期

## 5 要望事項等

毎月、農業委員会総会後に農地等の利用の最適化に向けて意見交換を行っており、農地を斡旋するなど耕作放棄地の発生防止に取り組まれています。引き続き、多くの課題解決に向けて、民間の意見も取り入れながら、様々な視点で農地の継続的な活用方法について協議していくことを要望します。

